

XL. 作文の技術（3年生）



I. 目的

- A. 論文やレポート作成に必要な「作文の技術」を定着させるため
- B. 高校や大学、あるいは大学入試における「小論文」にも汎用させるため
- C. 思考力と表現力をつけるため

II. 演習

A. 1年生次、2年生次との違い

1. 3年生次（今回）

- | | | |
|-------|----------------------|----------|
| a. 序論 | テーマ（賛成・反対）について大まかな説明 | 1パラグラフ |
| b. 本論 | テーマ（賛成・反対）について理由 | 2パラグラフ |
| | それぞれの根拠 | 1パラグラフ×2 |

根拠は、専門家による言説（単なる事実は根拠とならない）、
あるいは数量的データであること

ソースを、表面の欄外（下部）に正しく示すこと

- ・著者名『書名』（出版者、出版社） ページ数
- ・サイト作成者「サイト名」（URL） 確認年月日

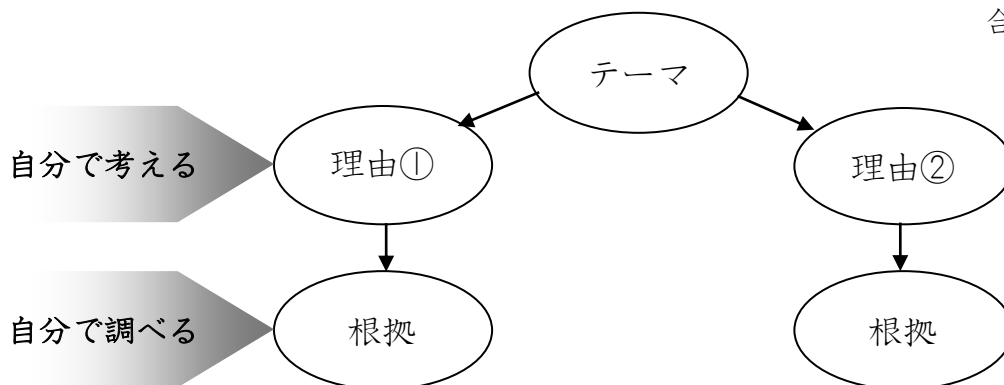
- | | | |
|-------|----------------------|--------|
| c. 結論 | テーマ（賛成・反対）について大まかな説明 | 1パラグラフ |
|-------|----------------------|--------|

2. 1年生次、2年生次と同じく、1パラグラフは4センテンス以上

B. エッセイの順序

テーマ説明（序論）→理由①→理由①の根拠→理由②→理由②の根拠→→テーマまとめ（結論）

合計6パラグラフ



C. エッセイのポイント

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. テーマ（賛成・反対）の理由が成立しているか | トピックセンテンスは、……だからだ。 |
| 2. 理由の根拠が成立しているか（調べられているか） | トピックセンテンスに根拠の内容を。 |

D. 情報機器での文書作成

1. Microsoft Wordでの作成

その他のソフトやアプリを使いたい場合は要相談

2. ファイル名は「3A01 関学太郎 1」 英数字は半角

3年A組1番の関学太郎1回目の提出の意味

3. 内容 ※下図参照

- a. 1行目 学年・学級・番号・氏名
- b. 2行目 提出の回数
- c. 3行目 テーマ名
- d. 4行目を空けて、5行目からエッセイを書く
- e. エッセイのあと、改行して、参考資料（ソース）を正しく示す
- f. 1回目の提出に限り、参考資料（ソース）のあとに、以下のチェック項目を入力する。関西学院中学部図書館 (<http://library.kgjh.jp/>) の下部にあるチェック項目をコピー&ペーストしても構わない。入力なき場合は、1回目としての再提出となる。

日本における言語・作文の基本

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 誤字・脱字 | <input type="checkbox"/> 体言止め |
| <input type="checkbox"/> 漢字の不均衡 | <input type="checkbox"/> 同じ言葉の多用 |
| <input type="checkbox"/> 不必要な接続詞 | <input type="checkbox"/> 表現が不明瞭 |
| <input type="checkbox"/> 一文が長い | <input type="checkbox"/> その他 |

欧米における言語技術・作文技術

- | | |
|------------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 序論、本論、結論があいまい | <input type="checkbox"/> インデント、改行が不完全 |
| <input type="checkbox"/> 1パラグラフ1トピックの不徹底 | <input type="checkbox"/> 理由になっていない |
| <input type="checkbox"/> トピックセンテンスが不適切 | <input type="checkbox"/> 根拠不明、調査不足 |
| <input type="checkbox"/> パラグラフ、センテンスの過不足 | <input type="checkbox"/> その他 |

<p>3A01 関学太郎</p> <p>1回目</p> <p>テーマ：中学生は本を読まなければならない 賛成</p> <p>↓</p> <p>『中学生のつくりかた』には、中学生の心得が書かれている。中学生が充実した生活を送るための心得だ。とくに人間関係を大切にすることが説かれている。人間関係での悩みが多い中学生には必携の1冊だ。</p> <p>中学生は強くなければならない。人間関係が壊れることもある。日常にアクシデントはつきものだ。アクシデントを乗り切するためには、自分自身が強くなければならない。</p> <p>中学生は優しくなければならぬ。優しさとは他人に対する思いやりである。他人を思いやれば人間関係が壊れることはない。自分中心ではなく、「他人中心」で考えることが大切だ。</p> <p>中学生はユーモアがなければならない。ユーモアがなければ人間関係は平板なものとなる。人間関係を豊かにするにはユーモアが欠かせない。他人を傷つげずに和ませるユーモアは想像力が基盤となる。</p> <p>この本は、中学生への「応援メッセージ」である。豊かな人間関係をつくるアドバイスが詰まっている。憂いなく自分のやりたいことに打ち込むのが本来の中学生の姿だ。主体性をもった中学生生活を送るための1冊と言える。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">● 神代浩（編）、中山美由紀（編）『学校図書館の挑戦と可能性—困ったときには図書館へ2』（悠光堂、2015）● 関西学院中学部「入試概要」（https://www.kwansei.ac.jp/jh/jh_004934.html）2020年5月1日確認● 河野隆一「中学校図書館におけるデータベース活用」（『学校図書館』823、2019） <p>↓</p> <p>日本における言語・作文の基本</p> <table border="0"><tr><td><input type="checkbox"/> 誤字・脱字</td><td><input type="checkbox"/> 体言止め</td></tr></table>	<input type="checkbox"/> 誤字・脱字	<input type="checkbox"/> 体言止め
<input type="checkbox"/> 誤字・脱字	<input type="checkbox"/> 体言止め	

E. 提出の方法

1. 学校のPCのハードディスク（HD）にファイル（データ）を提出する方法

a. 提出場所 「提出」→「3年読書」→「エッセイ」→各学級のフォルダ

一度このフォルダに提出すると加筆訂正できない。よく確認したうえで提出すること。

b. 返却 その日の下校時刻までに提出された分は、紙ベースで3日以内に返却

2. Google Classroomを通じてファイルを提出する方法

a. 提出場所 Google Classroomの「2020年3年生読書科」

b. 返却 その日中に提出された分は、ファイル（データ）で3日以内に返却

c. 質問等 ストリーム上に投稿された質問については、一両日中に返答する（共有される）

E. 提出ごとの添削（1年生次、2年生次と同様）

1. 1回目提出のエッセイには、合否の別とチェック項目にチェックを入れて返却

2. 2回目提出のエッセイには、合否の別と具体的な箇所を指摘して返却

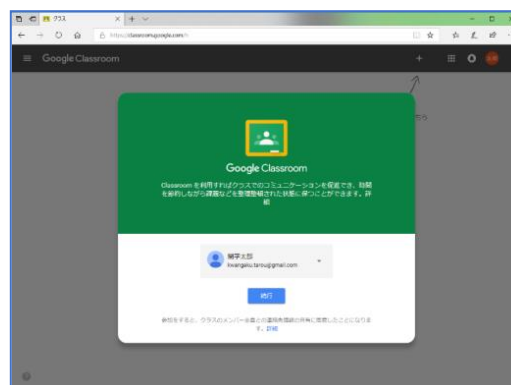
3. 3回目以降提出のエッセイには、合否の別と具体的な添削をつけて返却

F. その他

1. これを機に、Google アカウント（Gmail などが利用できる）の作成を薦める。これから生活や仕事をしていくうえで、有用なサービスを、多く無料で活用することができる。もちろん、卒業レポート作成においても活用することができる。なお、このアカウントがなくても、十分に授業（課題）を十分に受けることはできる。

2. 質問は、朝、昼休み、放課後、いつでも図書館で受け付ける。また、Google Classroomのストリーム上でも受け付ける。エッセイやレポートの内容について（レファレンス）は受け付けるが、ICT活用（PCの操作方法等）は技術家庭科で学んでいること、および主体性を尊重することをふまえて原則受け付けない。

3. ファイル（データ）のやり取りは、原則としてGoogleドライブやOneDriveなどのクラウド上のストレージを活用すること。コンピュータウイルス感染等の観点から、USBフラッシュドライブ（USBメモリ）など外部記憶装置はできるだけ用いないように。万が一用いる場合は、事前にウイルスチェックするなど配慮すること。



1	日本の学校は9月入学を実施すべきである。	賛成
2	日本の学校は9月入学を実施すべきである。	反対
3	小学生に英語を教えるべきである。	賛成
4	小学生に英語を教えるべきである。	反対
5	学校給食は必要である。	賛成
6	学校給食は必要である。	反対
7	中学受験は必要である。	賛成
8	中学受験は必要である。	反対
9	中学生に携帯電話は必要である。	賛成
10	中学生に携帯電話は必要である。	反対
11	中学生に武道は必要である。	賛成
12	中学生に武道は必要である。	反対
13	中学生に定期試験は必要である。	賛成
14	中学生に定期試験は必要である。	反対
15	中学生にクラブ活動は必要である。	賛成
16	中学生にクラブ活動は必要である。	反対
17	中学生に土曜日授業は必要である。	賛成
18	中学生に土曜日授業は必要である。	反対
19	中学生に制服は必要である。	賛成
20	中学生に制服は必要である。	反対
21	中学生に読書は必要である。	賛成
22	中学生に読書は必要である。	反対
23	中学生のヘアスタイルやヘアカラーは自由であるべきである。	賛成
24	中学生のヘアスタイルやヘアカラーは自由であるべきである。	反対
25	中学校はボランティアを必修にすべきである。	賛成
26	中学校はボランティアを必修にすべきである。	反対
27	中学校は就職体験学習を義務化すべきである。	賛成
28	中学校は就職体験学習を義務化すべきである。	反対
29	学校図書館にマンガは必要である。	賛成
30	学校図書館にマンガは必要である。	反対
31	学業成績や運動会の順位づけはやめるべきである。	賛成
32	学業成績や運動会の順位づけはやめるべきである。	反対
33	電車で女性専用車両は必要である。	賛成
34	電車で女性専用車両は必要である。	反対
35	日本において法的に「安楽死」を認めるべきである。	賛成
36	日本において法的に「安楽死」を認めるべきである。	反対
37	日本は本、CD、DVD、ゲームの中古販売をやめるべきである。	賛成
38	日本は本、CD、DVD、ゲームの中古販売をやめるべきである。	反対
39	日本は死刑を廃止すべきである。	賛成
40	日本は死刑を廃止すべきである。	反対

XLI. 卒業レポート⑥ 情報カードの作成



I. 目的

- A. 卒業レポートのアウトラインにそくした情報を集めるため
- B. 集めた情報を整理して、自分なりの論理を構築するため
- C. 卒業レポートのテーマに関して、理解を深めるため

II. 演習

A. 情報を探す

1. 「卒業レポート④ 論理の構築」によるアウトラインに則した情報を探す。

- a. 今回対象とするアウトラインの部分は、もっとも下位の項目である。
- b. いずれのアウトラインの部分からでも情報を探して構わない。
- c. 上位の項目であるアウトラインの部分については今回対象としない。

2. 様々な参考資料から情報を入手する。

a. 図書 「図書」の情報カードに

- (1). 基本は購入した参考資料による。
- (2). その参考資料で足りない場合は、演習「卒業レポート② 参考資料の探索」によるカードから、それぞれの参考資料にあたる。
- (3). 以上の参考資料で足りない場合は、新たに参考資料を探す。探し方については、演習「卒業レポート② 参考資料の探索」を参考にする。
- (4). 図書館で購入してほしい資料がある場合は、リクエスト制度を利用する。

b. ウェブ 「ウェブ」の情報カードに

- (1). 発信者（作成者）が明らかなサイト（公的な団体なサイトなど）を活用する。情報カードの「サイト作成者名」が明らかでなければ、少なくともレポートに活用できるサイトとは言えない。

→Google (<http://www.google.co.jp/>)のファイルタイプ検索 (.pdf など)、ドメイン検索 (go.jp. など) を活用

- (2). ウィキペディアなど、サイト作成者が特定できないサイトは、情報の信頼性を保証できい。また、他者が追検索（検証）できないためレポート作成には使えない。

→ウィキペディアの該当ページは、およその内容をつかむ、あるいは参考資料や外部リンクなどは活用できる。

Google 検索オプション	
検索条件	すべてのキーワードを含む フレーズを含む いずれかのキーワードを含む キーワードを含めない
言語	検索の対象にする言語
地域	検索の対象にする地域
ファイルタイプ	検索の対象にする <input type="button" value="ファイル形式"/>
日付	ページの最終更新日 (ローカルされた日)
範囲	検索の対象にする箇所
ドメイン	検索の対象にする <input type="button" value="サイトまたはドメイン"/>
使用権	検索対象のコンテンツ
セーフサーチ	<input checked="" type="radio"/> フィルタリングしない <input type="radio"/> セーフサーチを使ってフィルタリングする
特殊サーチ	
類似ページ	次の URL に似ているページ
リンクページ	次の URL にリンクしているページ



c. 新聞 「新聞」の情報カードに

- (1). 近代的なテーマ（およそ昭和、平成時代のテーマ）に有効。
- (2). 関西学院中学部図書館のウェブサイト (<http://library.kgjh.jp/>) より WEB データベースで検索（学内のみ）。
- (3). 実際の紙面（縮刷版）にあたる（大学図書館や公共図書館など）。

d. 雑誌（大学紀要、雑誌論文） 「雑誌」の情報カードに

- (1). より学問的、より専門的な情報を知ることができる。
- (2). 雑誌論文は、以下のサイトで検索することができる。

Cinii サイニィ

(<http://ci.nii.ac.jp/>)

論文や図書・雑誌などの学術情報で検索できるデータベース・サービス



J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)

3,000 誌以上のジャーナル（新聞や雑誌）や会議録等の刊行物を公開
 国立国会図書館サーチ (<http://iss.ndl.go.jp/>)

図書はもちろん、雑誌記事や論文も検索することができる

Google Scholar (<https://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja>)

Google が提供する学術論文検索サービス

- (3). なかには、PDF 形式などウェブ上で読める雑誌論文もあるが、実際の雑誌にあたらなければ読めない雑誌論文もある（大学図書館など）

e. その他 レファレンス＝相談に応じる

- (1). テレビ番組、ビデオ・DVD ソフトなど 「動画」の情報カードに
- (2). 授業中の先生の話、先生へのインタビューなど 「音声」の情報カードに
- (3). リーフレットやパンフレット（印刷物） 「その他」の情報カードに
- (4). フィールド・ワーク（アンケートなど） 「その他」の情報カード

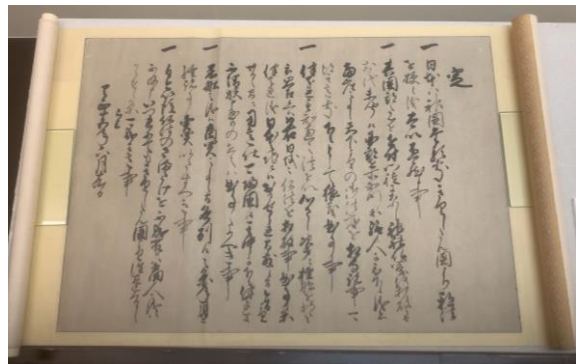
【レファレンスサービス（レファレンスカウンター）の活用】

図書館の重要な任務としてレファレンス（参考業務、調査相談）がある。図書館にあるレファレンスカウンターでは、レファレンスサービスとして「調査の専門職」でもある司書が、調査の相談に応じてくれる。これら全国のあらゆる図書館のレファレンス事例を集めたのが国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」である。自分が欲している情報のキーワードを入れて検索すると、すでにどこかの図書館でレファレンスをしていれば、こういう資料の存在を紹介したという事例が出てくる。レファレンス事例そのものを情報カードにはまとめられないが、それをヒントに資料を探すができる。

国立国会図書館「レファレンス協同データベース」(<https://crd.ndl.go.jp/reference/>)

【一次資料】

あることさらにに関する資料のうち、最初の資料や原典、元の文献などを一次資料と言う。それそのもの、古文書、遺物などもそれにあたる。これに対し、一次資料について解説したり、一次資料を加工・編集したりした資料を二次資料と言う。もちろん、一次資料が多ければ多いほど学問としても、情報としても信頼性が高い。二次資料、三次資料……は、いわば「伝言ゲーム」の産物なので信頼性は落ちる。校外学習や修学旅行でのフィールド・ワーク（現地調査）を重要視している理由はここにある。



いわゆるバテレン追放令（松浦史料博物館）

2020年11月10日 河野隆一写す

【情報の信憑性】

Web だから情報の信憑性が低く、図書だから情報の信憑性が高いということはない。そのWeb、その図書、それぞれをよく吟味し、情報の信憑性を確かめる必要がある。以下にそれを確かめるヒントを挙げる。

- 何のために発信された情報なのか。
 - 目的がお金儲け（本が売れる、広告費を稼ぐ）ならば、一般人の目を引くような、嘘や誇張が入った過激な情報になってしまう。
- 著者や作成者は、どのような人物なのか。
 - 匿名ではないか。今までどのような情報を発信してきた人物か。
- 出版者（出版社）やドメイン名は信頼できるか。
 - 思想的、宗教的なバイアスがかかっていないか。社会的に信頼できるような団体か。go.jp や ac.jp など取得要件が厳しく、co.jp は日本で登記されている。

る企業がのみとなっている。

- 出版年が新しいか。更新頻度は高いか。
 - 情報、学説はどんどん古くなる。
- データの調査元
 - 世の中にはさまざまなデータがあるが、それはどこが集めたデータか。調査元をたどれば、およそデータの信頼性はわかる。

【独自性】

いわゆる学校の授業で習うような、受験勉強で得られるような既知（すでに知られていること）をまとめても、レポートや論文としての意味はあまりない。そもそも論文とは、先行研究（今までの研究）をふまえて、その先行研究でできていないこと、足りないことを、独自に論理的に文章としてまとめたものである。レポートや論文では、論理についても、それを補強する根拠（情報）についても独自性が求められる。

B. 事実の情報カードの作成

1. カードの内容の部分には、見つけた情報を記入する。

- a. 見つけた情報が文章の場合、言いたいことが一つになるまでバラバラにして、カードに記入する。短くても構わないが、目安は200文字。言いたいことが一つになるまでバラバラにした情報ならば、おのずとそれくらいになる。レポートでは、それが1つのパラグラフ（段落）となる。
 - b. それぞれのカードは1枚にまとめる 原則カード内では改行しない。箇条書きなどの場合は構わない。
 - c. 先頭には、トピックセンテンスが来るよう心がける。そのセンテンスにはアンダーラインを引く。
 - d. カードに記入する方法には、引用（そのままを正確に写す）、加工（自分の言葉で言い替えるか、短くまとめる→要約）がある。
 - その言葉や文から論を展開する場合や数量データや画像の場合は「引用」でなければならぬ。
 - e. 標記を統一する。
 - (1). 常体（⇔敬体）での統一（「……だ。」「……である。」）
 - (2). 算数字（1.2.3……）での統一（横書きは算数字、縦書きは漢数字が原則）。ただし、「一般」や「五重塔」のように一つの熟語になっている場合は、漢数字のままでもよい。
 - (3). その他、人名（天草四郎 or 天草時貞）、年号（西暦 or 年号）など標記を統一する
 - f. 図や絵や表などを、他の紙に加工したり、引用（コピー）したりして貼り付けても構わない。演習「新聞記事の資料化とその活用」の要領で、折りたたんでまとめる。
2. 「主題」には、その内容が一目でわかるように見出しとアウトラインの記号を書く。

3. 右上の部分には、通し番号をつける（事実の情報カードを作成した順番）。
4. 作成年月日をつける。
5. ソース（情報源）を示す。ソース枠がすべて埋められないソースは使えない。とくにウェブの「サイト作成者名」に気を付ける（不明 or 不明瞭なサイトは使えない）。

事実の情報カード 例

加工	図書 book	関西学院中学部 情報カード	
	主題 ヤゴロウのお倉へ	I.A.	12
	<p>ザビエルはマラッカにて「ヤゴロウ」と出会った。シナから帰ってきた和蘭船の船長から、港色い情に、やや眼がツリ上がった異邦人を紹介された。船長が言うには、数年前和蘭船が発見した「日本」という国の者で、名を「ヤゴロウ」と言った。彼は鹿児島の人で人殺しの罪を犯し、そのために薩摩半島南端(山形)に泊っていた南蛮船に運ばれた。</p>		
	2014年 5月 11日作成		
	書名 新装版 南蛮のバレン	巻 ページ 22~33	
	著者名 杉田 毅一	出版者名 朝文社	出版年 2001

加工	ウェブ Web	関西学院中学部 情報カード	
	主題 ザビエルの家譜	I.A.	12
	<p>ザビエルは、父、母、兄、姉が3人。父ファン・デル・ハースは、ポルトガル王の参事官を兼ね、ポルトガルの側近として重要な役割を果たしていたが、1515年心労のため亡くなった。母レオノール・デ・アジルクは、ポルトガルの最高位の貴族出身で、留声機で、夫を代わりザビエルを育て上げた。1529年亡くなっている。長姉マダレーザは修道女となり、次姉アニスは結婚した。2人の兄ミゲル・デ・ファンは軍人としてポルトガルの復興に努めた。</p>		
	2014年 5月 23日作成		
	サイト名 十字架のザビエルの紹介	サイト作成者名 山口ザビエル記念聖堂	
	URL http://www.xavier.jp/xavier/xavier_encountering.html		2014年 5月 21日確認

C. 補足の情報カードの作成

1. 事実の情報カードの内容の中で、意味のわからない言葉や抽象的な言葉などを、参考図書（レファレンスブック）で調べて補足をする。

例：『日本史辞典』、『国語辞典』、『宗教事典』、『キリスト教事典』など

例：「ジャパンナレッジ」などの事典・辞典データベース（学内のみ）

例：カシオワード（『広辞苑第6版』） → 電子辞書やWEBの場合はその元の書名も

※ウェブ上の無料の事典の類はすすめない → 無料である理由

2. 補足の情報カードを作成する事実の情報カード中の言葉には、一目で分かるように四角で囲む。
3. 情報カードの書き方は、事実の情報カードと同様である。ただし、通し番号のところに、その事実の情報カードの通し番号と補足の情報カードの枝番号をつける。

加工	図書 book	関西学院中学部 情報カード	
	主題 マラッカ	I.A.	1-1
	<p>マレーシアにあり、最も古い町のひとつ。15世紀以降、東西間の重要地点かつ貿易中心地。和蘭船、ポルトガル船、イギリスの船に航路を占めていた。</p>		
	2014年 5月 15日作成		
	書名 世界地名情報事典	巻 ページ 1520	
	著者名 辻原 康夫 ほか	出版者名 東京書籍	出版年 2003

補足の情報カード 例

D. 意見の情報カードの作成

1. 事実の情報カードをもとにして、自分の意見、考察をカードにまとめる。「エッセイを書く」のときと同じく、ぼやかさずに断定的に意見は書く。

2. 意見の情報カードの書き方は、事実の情報カードと同様。トピックセンテンスに気をつけ、アンダーラインを入れる。通し番号は、そのもとにした事実の情報カードの通し番号を書く。

3. 意見と感想の違い

a. 意見→ もととなる事実を通過点とみなして、次に何かを生み出す姿勢が必要。

他の人でもそれが言える。客観的で、主観的ではない。一般化できる。

推測 (例) ……かもしれない。なぜならば……

評価 (例) ……といえる。その根拠は……

確信 (例) ……に違いない。それは……

他にも、結論、理論、法則など多様な意見の種類がある

「……と思う」で終わらない。ただし、同じ文末を繰り返さないように。

b. 感想→ もととなる事実を到着点とみなして、すでにそれについては生み出すことはない。

他の人ではそれが言えない。主観的で、客観的ではない。一般化できない。

多くは「……と思う」で終わる。

自分の意見 my opinion		関西学院中部 情報カード
主題	ヤジロウとの出会い	I.A. ♂
<p>ガビエルとヤジロウとの出会いは奇蹟的だと主張する。それはガビエルが、このマラカにいた時にヤジロウに出会ったから。ヤジロウも人殺しをし、偶然にも山崎流に捕まっていた南蛮船に逃げ込み、偶然にもこの船がマラカに立ち寄った。偶然の重なりで二人は出会ったのだ。</p>		
2024年5月15日作成		

意見の情報カード 例

E. アウトラインのカードの作成 罫線のない白のカード

1. カードの上の部分に「アウトライン」と書く。
2. 左下の部分に作成年月日を書く。
3. 内容の部分に最終的に確定したアウトラインを書く。
4. もし、2枚以上またがる場合は、右上の部分に「何枚目」/「総枚数」と書く。
5. 最終提出の際、それぞれのアウトラインの部分に、作成した事実の情報カードの枚数を書く。

アウトライン	
I. キリスト教の伝来	
A. ガビエルの布教	⑤
B. キリシタン大名の誕生	④
C. 仏教への影響	③
II. キリスト教の影響	
A. 南蛮寺	②
B. セミナリオ	③
C. 出版物	③
III. キリスト教の滅亡	
A. 豊臣秀吉のキリスト教観	⑥
B. ニハス聖人の殉教	⑧
C. 江戸幕府による迫害	⑦
2008/6/14	

アウトラインのカード 例

F. 途中確認（面談）と最終提出

以下のスケジュールで、途中確認（面談）をおこなう。その折、表紙および、以下の情報カードを用意する。それらをもとに、簡単な添削とアドバイスを加える。最終提出においては、情報カードそのものを評価する。それまでの添削やアドバイスなどを参考にすること。

1回目確認	事実の情報カード 3枚以上	補足の情報カード 1枚以上
2回目確認	事実の情報カード 10枚以上 意見の情報カード 3枚以上	補足の情報カード 2枚以上
3回目確認	事実の情報カード 15枚以上 意見の情報カード 8枚以上	補足の情報カード 7枚以上
最終提出	事実の情報カード 25枚以上 意見の情報カード 15枚以上	補足の情報カード 10枚以上

G. その他

1. 情報カードを作成していく過程において、アウトラインの変更が生じることがある。その場合は、必ず「卒業レポート④ 論理の構築」の演習プリントをもって相談に来る。なお、変更は情報カードの3回目確認のときまで認める。
2. 事実の情報カードは最低 25 枚以上、補足の情報カードは最低 10 枚以上、意見の情報カードは最低 15 枚以上とする。
3. カード全体のソースのバランスを考える。情報カードの色のバランスを見るとわかりやすい。
4. 質問は、朝、昼休み、放課後、いつでも図書館で受け付ける。
5. 確認や提出の際には、表紙、Eのカード、Bのカード、BのカードについてのCのカード、BのカードについてのDのカード、新たなBのカード、と順に重ねて輪ゴムでくくる。

例：表紙 → アウトライン → 1 → 1-1 → 1-意 → 2 → … → 3 3 → 3 3-1 → 3 3-2 → …

Ⅲ. 情報カードから ICT の活用へ

A. 情報カード 梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書、1969）をベースに

1. 使い方

1枚に1項目	文章を書く	見出しをつける	日付をつける
通し番号をつける	ペンで書く	形式を揃える	

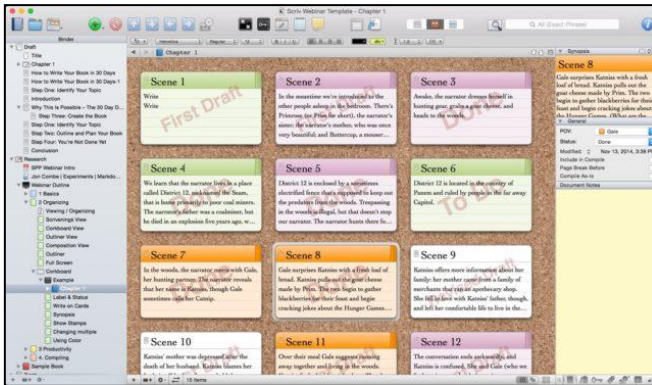
2. 利点

「記憶する代わりに記録する」	何でも書ける
並べ替えができる	分類わけができる

B. 情報カードからコンピュータへ

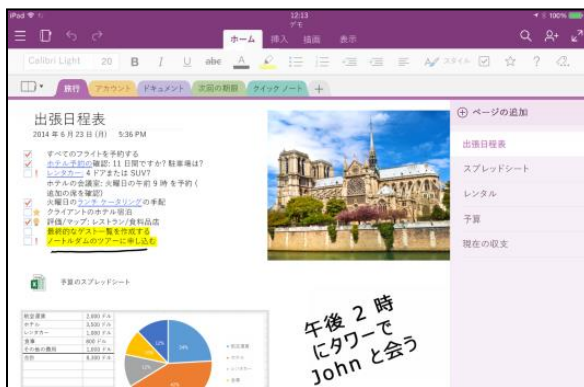
1. Evernote (エバーノート)

情報を蓄積するウェブサービス。個人用ドキュメント管理システムとも言える。誰でも無料で利用できるようになり(有料のプレミアム版もあり)、同社が提供するサーバ上にテキスト・画像・PDFなどのデジタルデータを保存することができる。各自が設定した「ノートブック」と称するサブジェクトごとにデータを保存、記録したものは全て自動的にインデックスが作られ検索可能。任意のタグを付けることもできる。共有の設定を行うことで、他者と保存した情報の共同利用も可能となる。



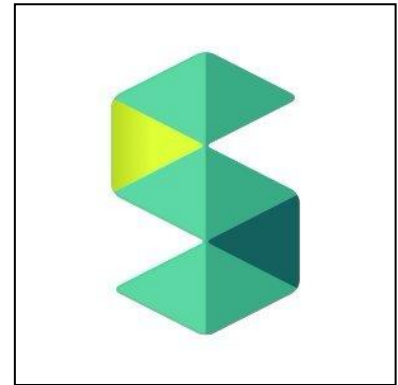
2. Microsoft OneNote (ワンノート)

マイクロソフトが公開しているデジタルノートアプリケーション。一つ用の紙(画面)に対して情報やメモなどを効率よく取り込む工夫がされており、目的ごとにタブを配置して画面内にテキストやメディアファイル等を挿入したり加筆修正したりすることが可能。手書き機能もあるため、タブレットPCやノートパソコン上での使用にも向く。ネットワークでのコラボレーション・同期機能があるため、OneNote形式のままでも共有できる。



3. Scrapbox (スクラップボックス)

カード型、ビジュアル重視、便利な記法・入力方法を持つ、テキストエディタ内蔵の「文字型情報整理サービス」。基本的には、テキストで記述した「ページ」を作っていくことで、情報を集積していく。



4. LifeHack (ライフハック) しよう

a. 効率良く仕事をこなし、高い生産性を上げ、人生のクオリティを高めるための工夫。

- (1). 情報カードに比べて、文章などの編集が容易
- (2). 情報カードに比べて、荷物が減る
- (3). レポートを作成する際、比較的労力が少なく済む

一方、短所もある。バランスを考えてよう。

b. 内容

- (1). 以上のサービス等を使って「卒業レポート⑥ 情報カードの作成」の内容を仕上げてても構わない。内容、枚数（分量）等は同じ。形式等は自分で主体的に考える。
- (2). 提出については、情報カードの場合と同じ。それぞれの確認日（提出日）までに、蓄積した情報を先生と共有するのがベスト（共有のために必要な情報があれば申し出る）。事前に確認したうえで、添削やアドバイスを加える。共有が難しいようであれば、それぞれの確認日（提出日）に、端末の画面を見ながら操作することとなる。
- (3). 繰り返すが、ICT活用（PCの操作方法等）については、技術家庭科で学んでいること、および主体性を尊重することをふまえて原則質問を受け付けない。もちろん、レポートの内容について（レファレンス）は質問を受け付ける。
- (4). これも繰り返すが、ファイル（データ）のやり取りは、原則としてクラウド上のストレージ等を活用すること。コンピュータウイルス感染等の観点から、USBフラッシュドライブ（USBメモリ）など外部記憶装置はできるだけ用いないように。万が一用いる場合は、事前にウイルスチェックするなど配慮すること。

XL II . 卒業レポート⑦ 中間発表



I. 目的

- A. 卒業レポートの答える（調べる）過程を振り返り、新たな答える（調べる）過程に進むため
- B. 卒業レポートを他者に発表することによって、客観性を担保するため

II. 演習

- A. 卒業レポートの内容を、1分45秒～2分00分でスムーズに話す練習をする。

1. 1分間に話す文字数は、300文字弱が適切と言われている（NHKのアナウンサー）。1分間で350文字話せば早口に感じる。よって、今回は500文字程度が目安。
2. 卒業レポートの論理を強調する。原則として「卒業レポート④ 論理の構築」の演習プリントの目標規定文に、「卒業レポート⑥ 情報カードの作成」で得られた情報（具体的な内容）を加えるかたちとなる。よって、論理（本論）の部分は「……について調べる」や「……について説明する」のままではいけない。その調べた内容、その説明する内容が加わることとなる。問う→答えるの過程が明確になるように気をつける。2分間が1つのストーリーとなるイメージ。
3. 発表は相手に伝えるという目的から、常体（…だ。…である。）・敬体（…です。…ます。）や口語（話し言葉）などの混用も構わない。もちろん、レポートなど文章は常体（…だ。…である。）が原則で、全体を通して統一すべきである。
4. 中学1年生に対して発表すると想定する。よって中学1年生が理解できるような論理、スピード、抑揚（強調）、語彙（言葉づかい）に配慮する。

B. 中間発表

1. クラス全員の前で、一人ひとり1分45秒～2分00秒の発表をおこなう。
2. 原稿を用意しても構わない。口頭での発表が原則だが、フリップボードなどを活用してもかまわない。
3. 発表時間の目安として、以下の合図がある
1分30秒（チャイム1回目） 1分45秒（チャイム2回目） 2分（強制終了）
4. 次の観点についての評価をおこなう。
全体（バランス） 論理 抑揚（強調） 語彙（言葉づかい） 姿勢（前を向く）

例

「なぜ有田焼は日本を代表する焼きものになったのか」。有田焼ができるまで、日本には土色であり硬くない陶器しかありませんでした。中国からのガラス質の硬い磁器が少しあるくらいでした。有田焼は豊臣秀吉の朝鮮侵略によって日本に連れてこられた李三平が、原料の石を泉山で発見したことからはじまりました。李三平は高い温度で焼く技術ももたらしました。当初は、白色に呉須というコバルト色の薬を用いたシンプルな焼きものでした。これを初期伊万里様式といいます。しかし、職人の努力と工夫により、白色に柿色を入れた柿右衛門様式や金を使った金襴手様式が誕生し、有田焼はバラエティに富んだものとなりました。丈夫であったため人気が出ました。さらには、大名の保護もあり、高級品もつくられるようになりました。有田にはすぐ近くに伊万里港があり、日本の都市部はもちろん、海外にも輸出されました。長らく有田焼の技術は秘密にされていましたが、愛知の瀬戸でもつくられるようになり、有田焼は他の焼きものにおされるようになりました。しかし明治に入り、再び技術革命が起きて世界的に認められるようになり、現在ではタイルなどの生産もおこなっています。以上により、李三平の知識と技術、有田の自然環境、およびそれらを上手に活用した有田の職人によって、有田焼は日本を代表する焼きものになりました。 (568文字)

XLIII. 卒業レポート⑧ 情報カードの作成 (補完)



I. 目的

- A. 卒業レポートのアウトラインに則した情報を集めるため
- B. 集めた情報を整理して、自分なりの論理を構築するため
- C. 卒業レポートのテーマに関して、理解を深めるため

II. 演習

- A. 演習「卒業レポート⑥ 情報カードの作成」における評価を参考にして、すべての情報カードについて、必要に応じて訂正する。
- B. アウトラインのもっとも下位の項目について、情報カードを完成させる。
 - 1. それぞれのアウトラインのもっとも下位の項目について、3枚以上の事実の情報カードからなるようにする。足りない場合は、カードを追加作成する。
 - 2. それぞれのアウトラインのもっとも下位の項目について、すでに3枚以上の事実の情報カードがある場合でも、情報量が少ない場合はカードを追加作成する。
 - 3. 情報カードの作成方法は、演習「卒業レポート⑥ 情報カードの作成」と同様である。

【まとまった時間がとれる夏休み中にとくに試みたいこと】

- a. フィールド・ワーク ※修学旅行は全員がおこなうフィールド・ワークである。
 - ①. 文献資料を収集する 「図書」の情報カードに
パンフレット、ちらしなどを集める。手紙、電子メール、電話で資料請求する。
例：長崎の路面電車はどの程度利用されているのか
→長崎電気軌道株式会社に資料請求の手紙を送る。
 - ②. 写真を撮る 「その他」の情報カードに(撮影者、撮影年月日)
本論と関係がある客観的な写真は資料として有用。
例：佐世保バーガーはどのようなハンバーガーか
→佐世保バーガーの専門店に行き写真を撮る。
 - ③. 人というメディアを活用する 「その他」の情報カードに(取材者、取材年月日)
インタビュー、アンケートなどを実施する。
例：新庄剛志は今でも愛されているのか
→知り合い100人にアンケートをとってみる。
 - ④. 資料館を訪ねる 「その他」の情報カードに(資料館名、見学年月日)
テーマに関係する資料館、博物館を訪ねる。
例：ザビエルはどのような人物か
→神戸市立博物館のザビエルの肖像画を見る、パンフレットを入手する。
- b. 各種図書館(公共図書館、大学図書館、専門図書館など)のレファレンスサービスを活用
 - ・図書館のレファレンスカウンターに行き相談を持ちかける。図書館の司書がその専門

性によって、一般人が知り得ない情報、見つけられない資料を探し出してくれる。

・とくに県立・府立図書館や大きな市立図書館はレファレンスサービスが充実している。

C. アウトラインの上位の項目について、情報カードを完成させる。 罫線のみの白のカード

1. それぞれのアウトラインの上位の項目について、事実の情報カードを1枚作成する。

2. その方法について、該当するアウトラインの下位の項目の情報カード（事実の情報カード）を参照する。それぞれのカードのトピックセンテンスをまとめるとよい。必ずカード1枚におさめる。

3. 書きかたは、演習「卒業レポート⑥ 情報カードの作成」と同様である。ただし、ソースのみ不要。

D. 以上により、事実の情報カードが40枚（通し番号が40）を超えない場合は、B. により補う

・補足や意見の情報カードの枚数についてはとくに問わない。

E. 全ての情報カードを、アウトラインの項目の順番に並び替える

例：I. → I. A. → I. B. → I. C. → II. → II. A. ……

※なお、同じアウトラインの項目内では、通し番号（事実→補足→意見）順に並び替える

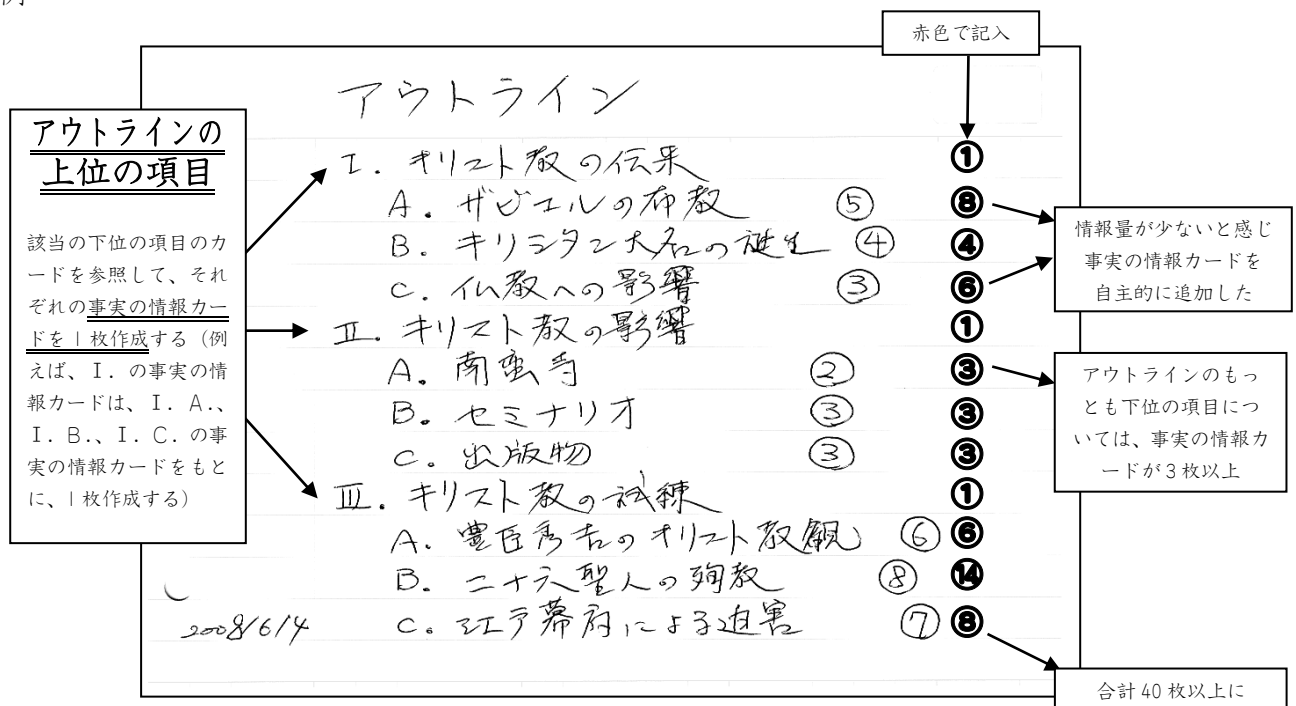
F. 前回の演習、および今回の演習で作成した全ての情報カードから、アウトラインの各項目に該当カード（事実の情報カード）の枚数を、前回の演習の枚数の右に赤色で書く。

・アウトラインの上位の項目は1枚、アウトラインのもっとも下位の項目は3枚以上になる。

G. 表紙、アウトライン、情報カードの順で、輪ゴムをかけて提出する。

H. ICTを活用する場合も上に準じる。

例



XLIV. 卒業レポート⑨ 表紙・目次・序論を書く



I. 目的

- A. 社会的に認められた調査や研究の表現方法や技術を知るため
- B. レポートや論文の一つのスタイルを習得するため

II. 演習

A. 情報機器でのレポートの作成

1. Microsoft Word での作成

- その他のソフトやアプリを使いたい場合は要相談

2. ファイル名

- a. 「3A01 関学太郎_卒業レポート_テーマ名」 英数字は半角
- b. 3年A組1番の関学太郎の卒業レポート「テーマ名」のファイルという意味

B. 途中確認（面談）と最終提出の方法

1. 学校のPCのハードディスク（HD）にファイル（データ）を提出する方法

- a. 提出場所 「提出」→「3年読書」→「卒業レポート」→各学級のフォルダ
- b. 提出日時 確認日（提出日）の前日の下校時刻まで

2. Google Classroomを通じてファイルを提出する方法

- a. 提出場所 Google Classroomの「2020年3年生読書科」
- b. 提出日時 確認日（提出日）の前日の下校時刻まで
- c. 質問等 ストリーム上に投稿された質問については、一両日中に返答する（共有される）

C. 形式・レイアウト

1. 全体の「ページ設定」

a. 「文字数と行数」

- 文字方向→横書き
- 文字数と行数を指定→文字数 40、行数 30

b. 「余白」

- 余白→上 35mm、下 30 mm、左 30 mm、右 30 mm
(デフォルト)

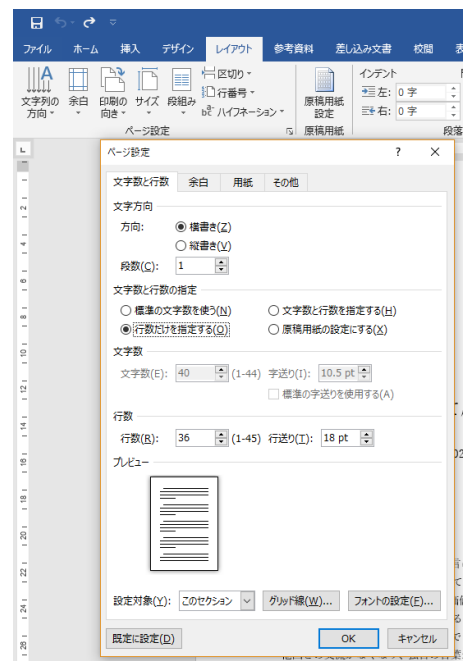
- 印刷の向き→縦 (デフォルト)

c. 「用紙」

- 用紙サイズ A4 (デフォルト)

- d. これよりとくに明記しない場合は、文字のフォントは游明朝、大きさは 10.5pt。これはデフォルトの設定なので、とくに設定を変える必要はない

- 「ホーム」→「スタイル」→「標準」 あらかじめ



めこの設定になっている

2. 全体の表記

a. 話し言葉ではなく、書き言葉

- ×「～というど……」→文を切る
- ×敬体「…です。」「…ます。」→「…だ。」「…である。」の常体で統一
- ×「～思う。」「～したい。」→個人の感想なのでレポートには不要
- ×「すごく」「とても」→使わない
- ×文頭の「なので」→「だから」
- ×「いろいろ」「ある意味」「様々」→具体的に示す
- ×「私は」「僕は」→自明であるので不要

b. 同じ言葉をできるだけ使わない

- △「…のだ。」「…のである。」→パラグラフに1回のみ（強調）

c. できるだけ一文を短く

d. 接続詞を多用しない

- ×「また」「そして」の多用→論理性があれば不要

e. 文法を守る

- ×「～たり、……」→「～たり」は2回以上用いる
- △「事」「時」「所」「物」→ひらがながよい（形式名詞）

f. 算用数字（序数）およびアルファベットは半角

- 「一般」や「五重塔」や「七転八倒」などの熟語は漢字表記で

g. 句読点は、。の表記（、.の表記もあるが今回は用いない）

h. ?、!などを用いる場合は、その直後1文字分あける（そもそもレポートには相応しくない）

3. 表紙と概要

a. テーマ名 上から13行目 文字の大きさ18pt、センタリング

b. 氏名等 上から15行目（「テーマ名」から1行あけ）

文字大きさ10.5pt（デフォルト）、センタリング

- 例：関西学院中学部 2020年度 3年E組28番 関学 太郎

c. 概要 上から19行目（「氏名等」から3行あけ）

文字の大きさ14pt、センタリング

上から20行目より内容、文字大きさ10.5pt（デフォルト）

- 「卒業レポート④ 論理の構築」の目標規定文をもとに、「卒業レポート⑥ 情報カードの作成」で得られた情報や論理を改行なしで記す
 - 「……について調べる」や「……について説明する」のままではなく、その調べた内容、その説明する内容を記す

- テーマ名については、すでに上で記しているため不要
- 文字数はおよそ 400 文字前後
 - 次の「キーワード」を含めて、次のページにまたがないように

d. キーワード

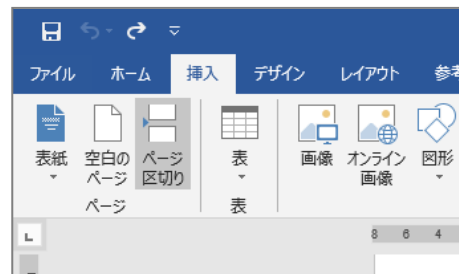
「概要」から1行あけ

このレポートを、キーワード（検索ワード）を5つ以上記す

- 単語（句=フレーズでも可）に限る
- レポートの内容、とくに独自性にかかるキーワードが望ましい

e. キーワードを入力し終えたところで、ページ区切り

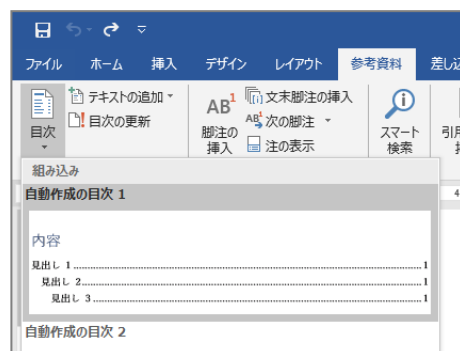
「挿入」→「ページ」→「ページ区切り」



4. 目次

※ここはとばして、7. 本論（ダミー）を作成したあとに取り組んだ方がスムーズ

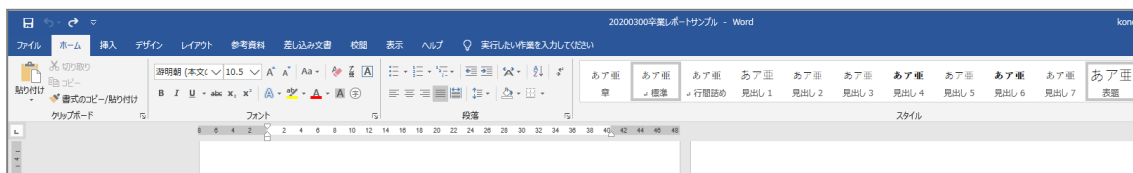
- 表紙の次のページにカーソルを合わせる
- 「参考資料」→「目次」→「自動作成の目次1」
 - 自動的に、レポートの目次が挿入される
- タイトルを「内容」から「目次」に変更する
- 今後、「参考資料」→「目次の更新」をすれば、自動的に目次が更新される



5. 序論

a. 見出し

「ホーム」→「スタイル」→「表題」を用いる



b. 見出しの次の行より、内容は入力する。内容は以下の3つ（3パラグラフ）。

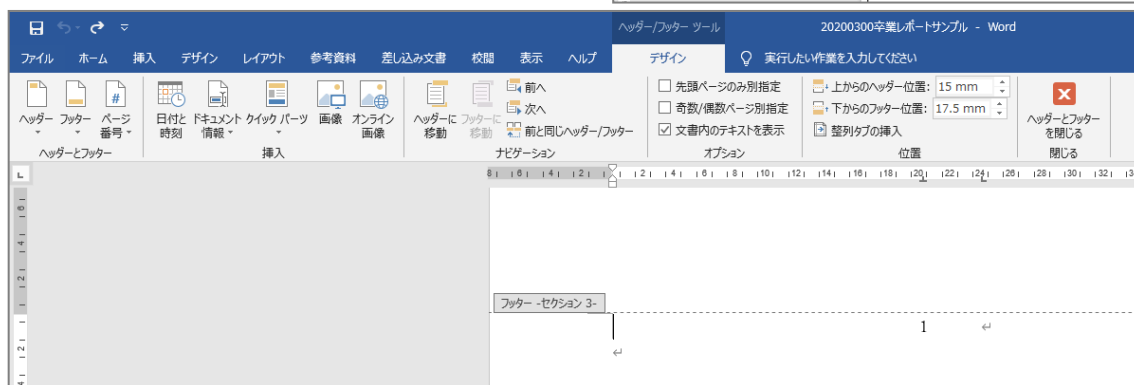
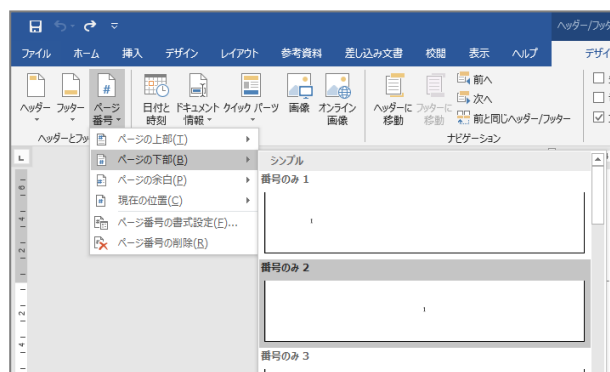
- 修学旅行や修学旅行の行き先について考えたこと
- この卒業レポートのテーマを選んだ動機や理由
- そのテーマに答えるための学習・調査・研究の方法
 - 総じて 500 文字以上、次のページにまたがないように

c. 序論を入力し終えたところで、ページ区切り

「挿入」→「ページ」→「ページ区切り」

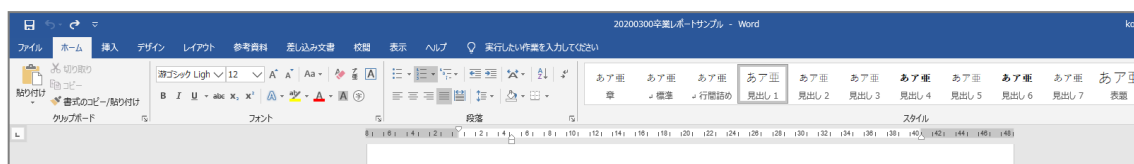
6. ページ

- a. 序論の下の欄外（フッター）でダブルクリックする
- b. 「デザイン」→「ナビゲーション」→「前と同じヘッダー／フッター」を OFF にする
- c. 「デザイン」→「ヘッダーとフッター」→「ページ番号」→「ページの下部」→「番号のみ 2」を選択する
- d. 表紙を 1 ページ目としてカウントしているの、序論を 1 ページ目とする
「デザイン」→「ヘッダーとフッター」→「ページ番号」→「ページ番号の書式設定」
「ページ番号の書式設定」→「連続番号」→「開始番号」を「1」を指定して OK
- e. 序論を 1 ページ目として、以降自動的にページ番号がつく
- g. 「デザイン」→「閉じる」→「ヘッダーとフッターを閉じる」で元に戻る



7. 本論 ※目次を作成するためのダミーを用意する

- a. アウトラインから章・節に
 - I. →第 1 章 II. →第 2 章 III. 第 3 章
 - I. A. →第 1 節 I. B. →第 2 節 I. C. →第 3 節
- b. 見出しのスタイル
 - 第 1 章、第 2 章、第 3 章… →「ホーム」→「スタイル」→「見出し 1」
 - 第 1 節、第 2 節、第 3 節… →「ホーム」→「スタイル」→「見出し 2」
 - 結論 →「ホーム」→「スタイル」→「表題」



どのようにして鹿児島弁はうまれたのか

関西学院中学部 2020年度 3年E組28番 関学 太郎

概要

日本は方言の豊かな国である。方言は、政治・文化の中心地である奈良や京都で生まれ、しだいに周辺部へ同心円状に広がっていった。現代では共通語化が進行しているが、方言が消滅することはない。近年、方言の価値が見直されている。教育や商業など様々な分野で方言が活用されるようになってきている。鹿児島弁は、動詞の活用の仕方、形容詞の語尾、助詞や助動詞が独特である。語法はすでに『古事記』に見られる。島津氏による政治により、他国との交流がなくなり、独自の言葉が使われ続けた。鹿児島弁の言葉は「短い」という特色がある。これは、鹿児島の人々の気質に関係している。気が短く、素朴で情に厚く、団結力がある。地元意識も強く、鹿児島弁はもちろん独自のものへの愛着が強い。一方、排外的、閉鎖的な性質もある。これらは、鹿児島の郷中教育が影響している。以上により、都から離れていたことや鹿児島県民の特性から、標準語などの影響を受けなかったことで、現在の鹿児島弁がうまれたということを論証する。

←

キーワード：鹿児島弁、方言、方言圏論、方言区画、古事記、風土記、島津氏、郷中教育

目次

序論	1
第1章 日本の方言	2
第1節 方言の定義	2
第2節 方言区画	4
第3節 現在	6
第2章 鹿見鳥弁の特徴	7
第1節 研究	7
第2節 暗号としての利用	8
第3節 歴史	9
第3章 県民性	11
第1節 気質	12
第2節 文化	13
第3節 西郷隆盛	16
結論	19

←

←

序論

修学旅行で行く鹿児島は、九州の最南端に位置する。江戸時代末期から明治維新にかけて、薩摩では多くの偉人たちが活躍した。また、言葉においては独特な鹿児島弁が話される地である。修学旅行では民泊という貴重な体験ができる。地元の人と直接話し生活することで、鹿児島弁を含め、鹿児島県特有のものについて、色々と教えてもらいたい。

このテーマを選んだ理由は、以前テレビで鹿児島弁を聞いたことがあり、日本語とは思えない独特な方言に興味を持ったからだ。会話を聞いていても意味が分からないものがあった。九州地方には、ほかにも博多弁や長崎弁など特徴的な方言がある。しかし鹿児島弁はさらに独特で分かりづらい。どうしてそのような言葉が話されるようになったのかを調べたいと思い、このテーマを選んだ。

このレポートを書くにあたって、日本の方言や鹿児島弁については学校と近隣の図書館、購入した本、ウェブを中心に調べた。県民性については、夏休み中に鹿児島県の資料館を訪れて理解を深めた。鹿児島県歴史資料センター黎明館、鹿児島市維新ふるさと館、西郷南洲顕彰館に行って展示物を見たり、参考資料を手に入れたりして情報を得た。

XLV. 卒業レポート⑩ 本論を書く



I. 目的

- A. 社会的に認められた調査や研究の表現方法や技術を知るため
- B. レポートや論文の一つのスタイルを習得するため

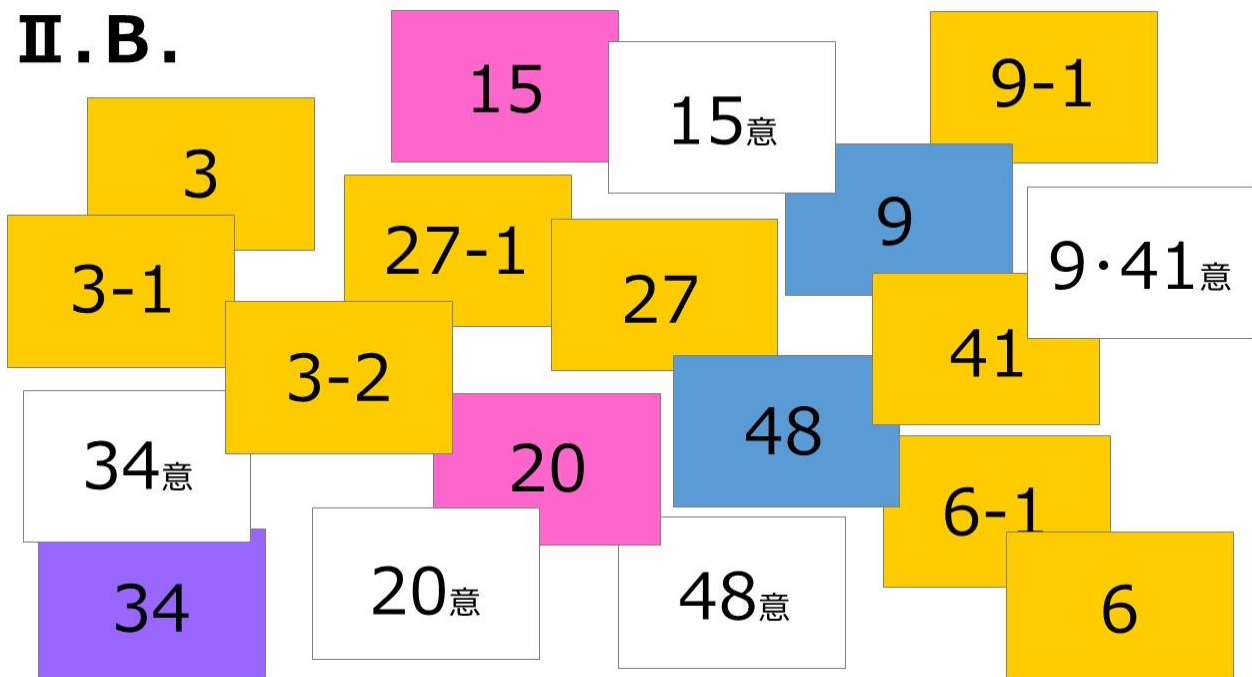
II. 演習

A. 情報カードから本論へ

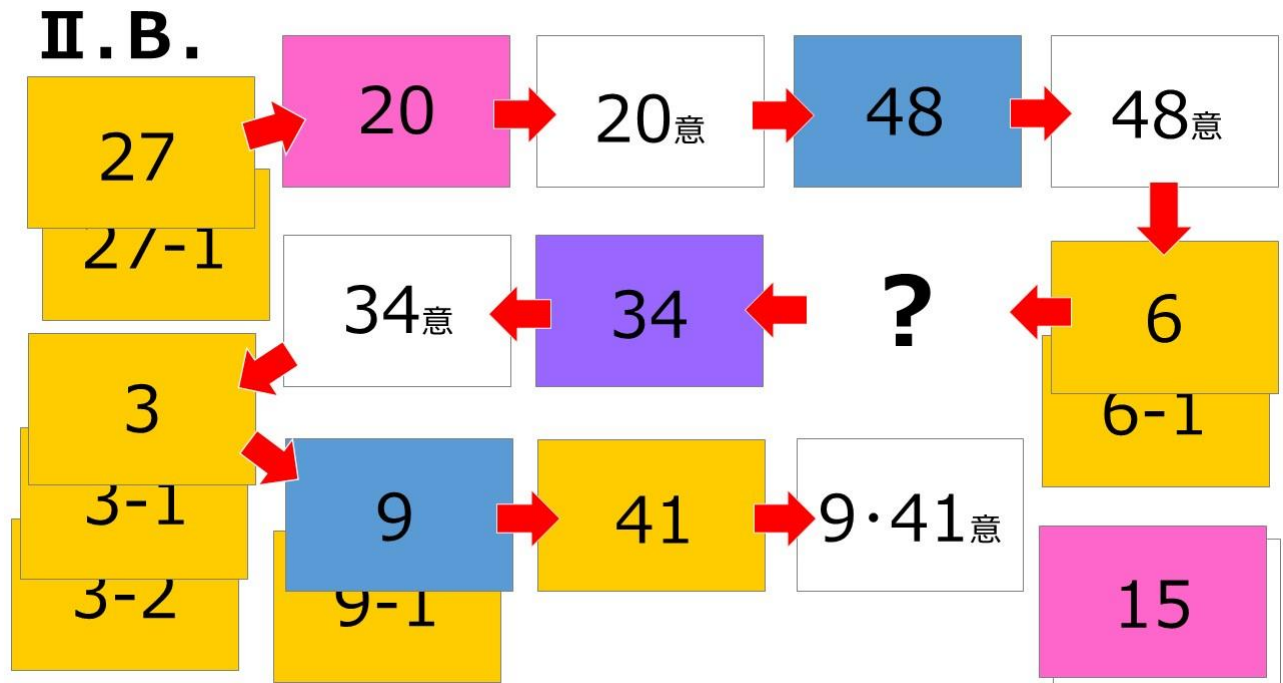
1. 情報カードの内容を、目次（アウトライン）に沿って本論とする。
2. 同じ目次（アウトライン）内の情報カードは、論理性（ロジック）を考えたいうて、その順番を考える。ただし、意見の情報カードは、その根拠となる事実の情報カードのすぐあとに来る。
3. 事実の情報カードと意見の情報カードは、それぞれ原則1つのパラグラフ（段落）とする。
4. 本論を構成していくうちに、不必要な情報カードがあれば用いなくてもよい。また、情報が不足していると感じた場合は、新たに情報カードを作成してもよい。
5. 全体的なコンポジション（文章）、パラグラフ同士の論理を考えて、接続詞や代名詞を上手に活用するとよい。
6. 原則、情報カードの内容をもとに、できるだけ自分の言葉で文章化していく。
7. 不必要な接続詞、一文の長さ（できるだけ短く）、トピックセンテンスの位置（パラグラフの先頭）、常体（…だ。…である。）などの統一、誤字・脱字などに気をつける。

① たとえば、II. B. のアウトラインには、以下の情報カードがあることを確認する。

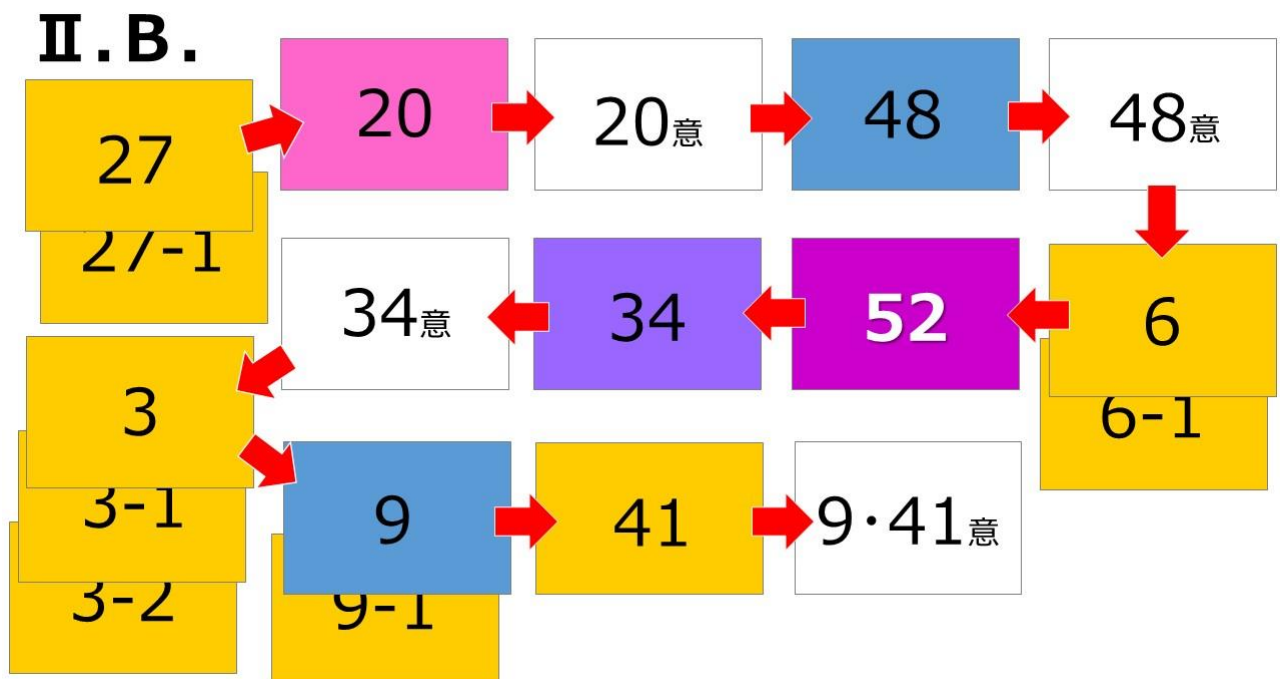
II. B.



- ② たとえば、Ⅱ.B.のアウトラインについて、蓄積した情報カードを論理的につながりになるよう並び替える。どのような論理すれば、独自性が生まれるのか。どのような順番にすれば伝えるのか。下では、「?」の部分は論理的なつながりには情報が足りず、「15」と「15意」の情報カードは論理的なつながりには不要であることを示している。



- ③ たとえば、Ⅱ.B.のアウトラインについて、必要な情報カードを補充し、不要な情報カードを破棄する。下では、必要な情報カード「52」を補充し、不要な情報カード「15」と「15意」を破棄している。



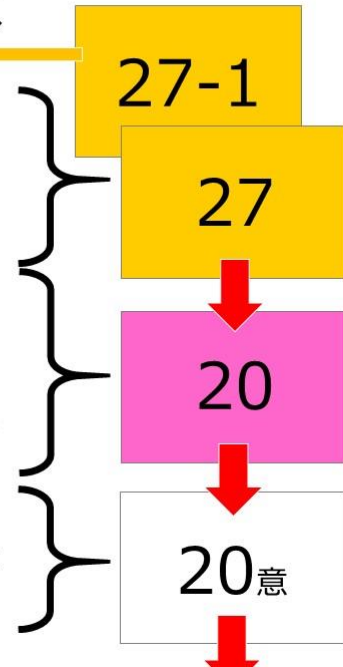
- ④ たとえば、Ⅱ.B.のアウトラインは、レポートでは第2章第2節となる。論理的に並び替えた情報カードの順番にしたがって、カード1枚(1つのトピック)が1つのパラグラフとなるように書いていく。なお、補足の情報カードのみは、注釈で示すこととなる(後述)。

第2章 第2節 ザビエルの布教

1506年、ザビエルはナバラ王国²⁹のザビエル城に生まれた。6人兄弟の末っ子として生まれたと伝わっている。幼少期は、兄弟が戦争に参加したり、ザビエル城が破壊されたり、相当な苦勞をした。³⁰

1525年、ザビエルはパリへ発ち、パリ大学に入学した。そこで哲学教授の資格を得た。その資格をもって、ザビエル自らが大学で哲学の講義を担当した。教育と研究ともに熱心であったと記録されている。³¹

ザビエルは信仰を学問的にとらえていた。宗教と哲学は学問的にも近い領域である。その哲学を教授の資格を得るくらい学問的に極めていた。大学でも



B. 本論を書く ※「表紙・目次・序論」と同じことを再掲

1. 話し言葉ではなく、書き言葉

- ×「～というところ……」→文を切る
- ×「…です。」「…ます。」敬体→「…だ。」「…である。」の常体で統一
- ×「～思う。」「～したい。」→個人の感想なのでレポートには不要
- ×「すごく」「とても」→使わない
- ×文頭の「なので」→「だから」
- ×「いろいろ」「ある意味」「様々」→具体的に示す
- ×「私は」「僕は」→自明であるので不要

2. 同じ言葉をできるだけ使わない

- △「…のだ。」「…のである。」→パラグラフに1回のみ(強調)

3. できるだけ一文を短く

4. 接続詞を多用しない

- ×「また」「そして」の多用→論理性があれば不要

5. 文法を守る

- ×「～たり、……」→「～たり」は2回以上用いる
- △「事」「時」「所」「物」→ひらがながよい(形式名詞)

6. 算用数字(序数)およびアルファベットは半角

- 「一般」や「五重塔」や「七転八倒」などの熟語は漢字表記で
- 7. 句読点は、。の表記（，.の表記もあるが今回は用いない）
- 8. ？、！などを用いる場合は、その直後1文字分あける（そもそもレポートには相応しくない）
- 9. 「加工」ではなく、そのまま「引用」をするときは次の通り
 - a. 短い「引用」の場合（およそ3行以内）
 - 該当部分を「 」でくくる
 - b. 長い「引用」の場合（およそ3行以上）
 - 該当部分をすべて1字分下げて、なおかつ該当部分の前後を1行あける
 - 事実の情報カードからのパラグラフの末に、情報源（ソース）を示すために、注釈を入れる。
- 9. 本論を入力し終えたところで、ページ区切り
 - 「挿入」→「ページ」→「ページ区切り」

C. 注釈（脚注）をつける

1. 情報源（ソース）を示す注釈

- a. 事実の情報カードからのパラグラフの末に、情報源（ソース）を示すために、注釈を入れる。
- b. 本論の該当箇所を範囲指定→「参考資料」→「脚注の挿入」→ソース（書誌情報）を入力
- c. ソース（書誌情報）の書き方

- 図書

- 著者『書名』（出版者、出版年） ページ数

- ✓ 杉山伸也『明治維新とイギリス商人—トマス・グラバーの生涯』（岩波新書、1993）p.105-p.107
 - ✓ 瀬野精一郎（編）、佐伯弘次（編）ほか『長崎県の歴史』（山川出版社、2013）p53

- ウェブ

- サイト作成者「サイト名」（URL） 確認年月日

- ✓ 長崎市「住民基本台帳に基づく小学校区別人口・世帯数（各月末）」
（<http://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/750000/752000/p023440.html>）
2019年6月4日

- 雑誌（論文）

- 執筆者名「記事名」（『雑誌名』巻号、発表年）

- ✓ 宮川裕隆「藤原光頼—軍記物語の『有職の人』」（『日本文藝研究』56・4、2005）

- 新聞

- 「記事名」（『新聞名』朝刊・夕刊、発行年月日、面、発行所、版）

- ✓ 「長崎被爆七一年」（『朝日新聞』朝刊、2016年8月9日、3面、東京、17版）

- 動画（テレビ番組、DVD など）

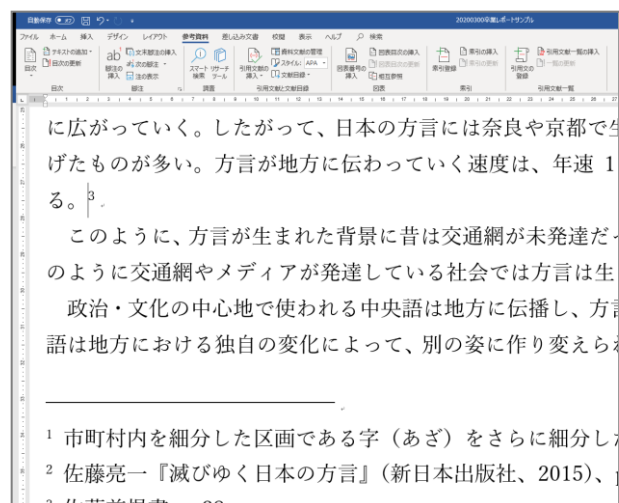
- 制作者「動画名」(販売元、制作年)
 - 音声 (講演・インタビューなど)
 - 対象人物「タイトル」(場所、年月日)
 - その他
 - 上にならって、カードに記入した必要事項を転記 (決まりはない)
 - 同じ資料の場合は、「前掲書」「前掲サイト」「前掲論文」と一部省略することも可能
 - 杉山前掲書、p.109 長崎前掲サイト 宮川前掲論文
 - 「前掲」とは、「前に掲げた」「以前に出た」の意味
 - ただし、同じ著者など同じ作成者の資料を2つ以上参考に行っている場合は使えない
4. 「参考資料」の「引用文献と文献目録」でも管理できるが、今回はすべて「脚注の挿入」での入力を勧める

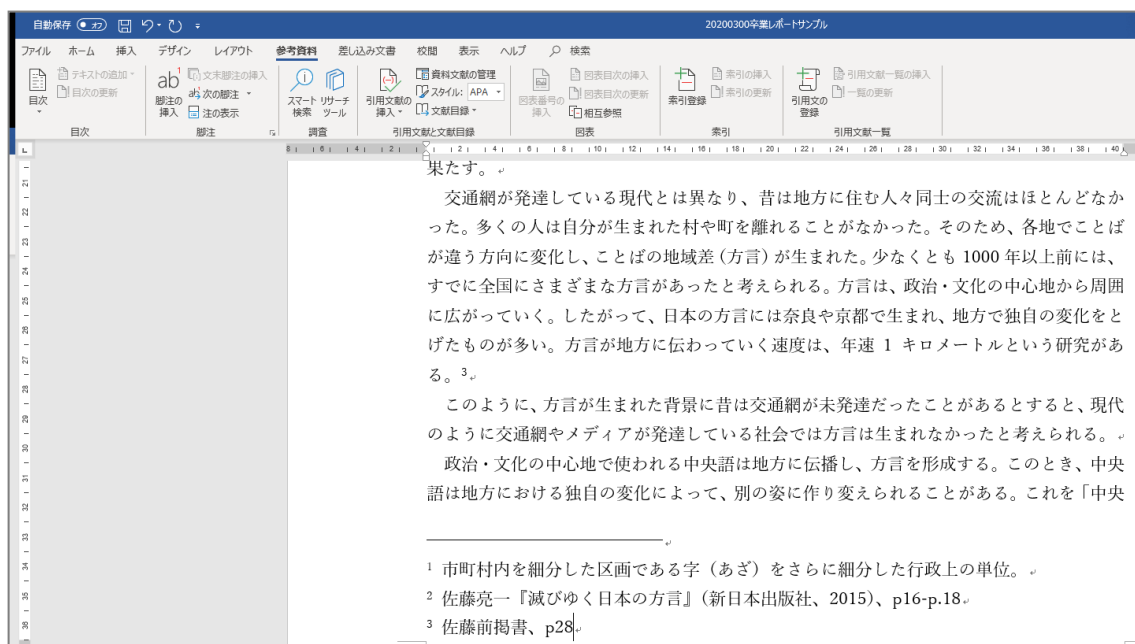
【再現性と正確なソース】

研究 (論文、レポート) は、「再現性」によって保証される。研究では、他者による先行研究 (本や論文) やフィールド・ワーク、実験などを参考にして、新たな発見 (独自性) を見出す。裏をかえせば、その根拠 (エビデンス) として参考にした本や論文やフィールド・ワーク、実験などが不正確であれば、研究は成り立たない。だから他者がいつでも、同じ本や論文、フィールド・ワーク、実験をもとにして、同じ結論が導き出されることによって、はじめて客観的に研究といえる。これが改めて重要視されるきっかけとなったのが2014年のSTAP細胞にかかる事件である。ある研究者が生物学の常識をくつがえすSTAP細胞の大発見をしたと発表し、話題になったが、その根拠としていた実験の「再現性」が認められず、のちにその発表が否定された事件だ。「再現性」は研究の基本である。「再現性」を担保するため、本、Web、雑誌論文などのソース (書誌情報) は正確に記さなければならない。

2. 補足説明を示す注釈 (補注)

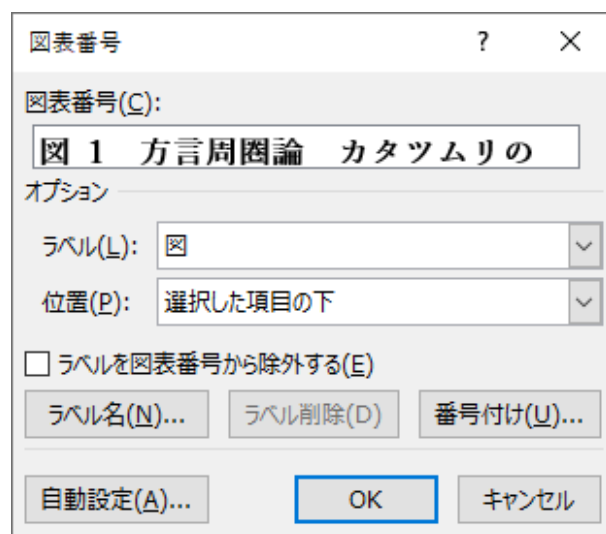
- a. 補足の情報カードを作った言葉の末には、補足説明があることを示すために、注釈を入れる。これを補注ともいう。
- b. 本論の該当箇所 (補足説明をする言葉) を範囲指定→「参考資料」→「脚注の挿入」→補足説明を入力
- c. 補足説明のソースは不要





D. 図や表

1. レポートに入れたい図や表をデータ化する(スキャン、スマホ撮影など)。
2. その図や表ともっとも関係のある文章の近く(パラグラフの切れ目が望ましい)に図や表を挿入する
 - 「挿入」→「図」→「画像」→挿入する図や表を指定
3. 文章と図や表のバランスをとる(図や表の行に文章を入れないようにする)
 - 図や表を左クリック→「図ツール」→「書式」→「配置」→「文字列の折り返し」→「上下」
4. 図や表の大きさや位置などを整える。とくにルールはないが、図や表の大きさは用紙の1/3以内におさえる方が望ましい。
 - 図や表を左クリック→「図ツール」→「書式」→「サイズ」
5. 図や表の番号とキャプション(表題)をつける。キャプションはできるだけ具体的に。
 - 図や表を左クリック→「図ツール」→「参考資料」→「図表番号の挿入」
 - 「図表番号」の自動番号の横1文字分スペースをあけてキャプションを入れる
 - 「位置」→「選択した項目の下」
 - 図や表の下の真ん中にキャプションがくるようにセンタリングする
6. 図や表にソースをつける(注釈とは別)
 - 図や表のキャプションの下にソースをつける
 - 5. でつけたキャプションの最後に



カーソルを合わせ改行する

➤ カーソルがキャプションの下の行に移る

- キャプションの下の行に、ソースを正しく記す（C. 注釈をつける参照）

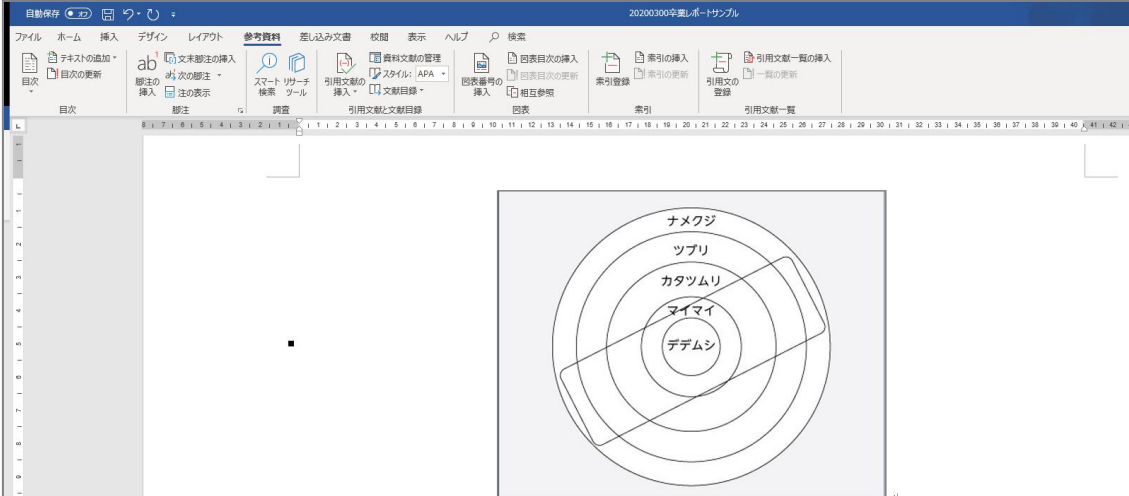


図 1 方言圏論 カタツムリの呼称の伝播

環境省「環境白書」(<https://www.env.go.jp/policy/hj110102.html>)2018年10月5日確認

■第2節 方言区画

第一に、音韻による方言区画がある。音韻に関する方言的特徴についての項目は七つある。子音の特徴、子音の挿入、一・二段動詞命令形、サ行五段動詞連用形、形容詞連用形、形容

E. 校閲、禁則処理

1. 校閲

- 校閲とは、文書や原稿などの誤りや不備な点などをしらべること
- 「校閲」→「スペルチェックと文章校正」
ある程度の入カミスや文章の間違いを指摘してくれる
- 「校閲」→「文字数カウント」
- 「校閲」→「表記ゆれチェック」

2. 禁則処理

- 禁則処理とは、とく日本語の文書作成において、句読点や閉じカッコなどが行頭や行末などにあってはならないなどとされる禁止事項→文章は見た目
➤ 。 、 つ) }などは行の最初に来てはならない
➤ (「などは行の最後に来てはならない
- 「ファイル」→「オプション」→「文字体裁」→「禁則処理の設定」の「高レベル」を選択

【文章は見た目も大切】

文章を読むということは、文章を目で追うことである。よって目で追えるような文章は、内容以前においていい文章ともいえる。よく新聞や雑誌で言われるのが「漢字3割、ひらが

な7割」の原則である。形式名詞（事、時、所、物など）をひらがなで書くことも、この原則によっている。1つのパラグラフ（段落）は200文字程度、適切な禁則処理、整ったレイアウトなど、「文章は見た目」の観点も大切にしたい。

F. 途中確認（面談）と最終提出

以下のスケジュールで、途中確認（面談）をおこなう。その前提として、下の要領で事前にレポート（データ）を提出すること。それらをもとに、簡単な添削とアドバイスを加える。最終提出においては、レポート全体を評価する。それまでの添削やアドバイスなどを参考にすること。

1. 学校のPCのハードディスク（HD）にファイル（データ）を提出する方法

a. 提出場所 「提出」→「3年読書」→「卒業レポート」→各学級のフォルダ

一度このフォルダに提出すると加筆訂正できない。よく確認したうえで提出すること。

b. 提出期限 途中確認（提出）日および最終提出日の前日（前登校日）下校時刻まで

2. Google Classroomを通じてファイルを提出する方法

a. 提出場所 Google Classroomの「2020年3年生読書科」

b. 提出期限 途中確認（提出）日および最終提出日の前日（前登校日）21:00まで

c. 質問等 ストリーム上に投稿された質問については、一両日中に返答する（共有される）

1回目確認 第1章第1節を完成させる

2回目確認 第1章のすべてを完成させる

3回目確認 第1章と第2章のすべてを完成させる

最終提出 結論も含めて、すべて完成させる

- 最終提出の条件は、本論の最後（結論の前）までの単語数が10,000文字を超えること
- 本論の最後までをすべて範囲指定→「校閲」→「文字校正」→「単語数」
 - 画面の左下の「*****文字」でもおよそわかる（結論も含まれているが）

G. その他

1. 卒業レポートのデータはこまめに保存し、バックアップをとっておくこと。データの破損、PCの故障などは、途中確認や最終提出を妨げる理由にならない。
2. 繰り返すが、ICT活用（PCの操作方法等）については、技術家庭科で学んでいること、および主体性を尊重することをふまえて原則質問を受け付けない。
2. もちろん、レポートの内容について（レファレンス）は質問を受け付ける。朝、昼休み、放課後、いつでも図書館で受け付ける。また、Google Classroomのストリーム上でも受け付ける。

・第1章 日本の方言¹⁾

日本は方言の豊かな国である。交通網が発達していなかった昔は、地方に住む人々同士の交流はほとんどなかった。そのため各地で言葉が違う方向に変化し、方言が生まれた。方言はまず、政治・文化の中心地である奈良や京都で生まれ、しだいに周辺部へ円を描くようにして広がっていったと考えられる。方言を様々な観点から地理的に分類することを方言区画という。音韻、アクセント、文法などによって日本の方言を地理的に分類することができる。現代では共通語化が進行しているが、方言が消滅することはない。場面によって方言と共通語が使い分けられている。また、方言の価値が見直され、教育や商業など様々な分野で方言が活用されるようになってきている。、

・第1節 方言の定義、

方言とは、それぞれの地域の人々が話している言語である。日本は方言の豊かな国である。、ことばづかいに世代差や階級差がみられるとき、それぞれの世代・階層の使う言語・表現は社会方言と呼ばれる。若者ことばは社会方言の一種である。社会方言に対して、地域差に着目した言語の違いは地域方言と呼ばれる。一般に、方言と言えは地域方言を指す。方言は地域社会をまとめるはたらきをもっている。昔は地域社会の最小単位は小字（こあざ）¹⁾であった。したがって、方言は小字ごとに違っている。²⁾

方言は地域社会を特徴づけるものだといえる。日本は言葉の地域差が大きい。これは昔から地域社会がはっきりと分かれていて、数が多かったことを意味する。また、方言は地域社会をまとめる働きを持つ。同じ方言を使う地域に仲間意識や団結力を生まれさせる役割を果たす。、

交通網が発達している現代とは異なり、昔は地方に住む人々同士の交流はほとんどなかった。多くの方は自分が生まれた村や町を離れることがなかった。そのため、各地でことばが違う方向に変化し、ことばの地域差（方言）が生まれた。少なくとも 1000 年以上前には、すでに全国にさまざまな方言があったと考えられる。方言は、政治・文化の中心地から周囲に広がっていく。したがって、日本の方言には奈良や京都で生まれ、地方で独自の変化をとげたものが多い。方言が地方に伝わっていく速度は、年速 1 キロメートルという研究がある。³⁾

このように、方言が生まれた背景に昔は交通網が未発達だったことがあるとすると、現代のように交通網やメディアが発達している社会では方言は生まれなかったと考えられる。、

政治・文化の中心地で使われる中央語は地方に伝播し、方言を形成する。このとき、中央語は地方における独自の変化によって、別の姿に作り変えられることがある。これを「中央

¹⁾ 市町村内を細分した区画である字（あざ）をさらに細分した行政上の単位。、

²⁾ 佐藤亮一「減びゆく日本の方言」（新日本出版社、2015）、p16-p.18.、

³⁾ 佐藤前掲書、p28.、



図 1 方言周図論 カタツムリの呼称の伝播⁷

環境省「環境白書」(<https://www.env.go.jp/policy/hj110102.html>)2018年10月5日確認⁸

第2節 方言区画⁹

第一に、音韻による方言区画がある。音韻に関する方言的特徴についての項目は七つある。子音の特徴、子音の挿入、一・二段動詞命令形、サ行五段動詞連用形、形容詞連用形、形容詞終止形、係助詞である。それらの特徴により、本州東部方言、本州西部方言、九州方言に区別される。東京から離れるほど多くの方言的特徴があることが分かる。鹿児島では主に、四つ仮名⁷、ガ行音の方言が使われている。⁸

第二に、アクセントによる方言区画がある。全国の方言はアクセントによって分類すると四つに分けられる。近畿・四国地方を中心として同心円状に「内輪方言」「中輪方言」「外輪方言」「南島方言」と分類される。おおよそ内輪方言が京阪式アクセントに相当する。中輪方言が東京式アクセントに相当する。外輪方言には型の区別を持たない無アクセントの地域を含んでいる。鹿児島県は外輪方言の区分である。外側の地域ほど単純化（アクセントの型の種類が減少）している。⁹

第三に文法による方言区画がある。方言は大きく東日本、西日本、琉球に三分類される。文法については、全国的な調査資料である『方言文法全国地図』によって分類されている。これは助詞と活用形の一四四項目の結果について分類したものである。各地域の調査結果

⁷ 「じ」「ぢ」「ず」「づ」の仮名、およびそれらによって表される音韻をいう。この四つの仮名の表す音韻は古くは区別して発音された。室町時代末期になると、「じ」「ぢ」は [ʃi][dʃi]、「ず」「づ」は [zu][dzu] となって、それぞれが混同されるようになった。江戸の元禄（1688-1704）ごろにはほぼ現代と同じようになった。⁸

⁸ 井上前掲書、p.32-p.33⁹

⁹ 井上前掲書、p.32-p.33⁹

32歳の時、僧月照（げっしょう）⁸⁴と共に、錦江（きんこう）湾（鹿児島湾）の三船沖に投身したことは有名である。⁸⁵。

西郷隆盛は感情が激しかった。1872年、明治天皇が熊本から船で鹿児島に着いたとき、船着き場の準備を命じたのにできていないことに怒り、近くにあった大きなスイカをげんこつで真っ二つに割った。感情の激しさが分かる逸話だが、明治天皇を慕い、天皇のことになると一生懸命心を込めて奉仕していた西郷隆盛だけに、特に腹を立てたのだと思われる。⁸⁶。

西郷隆盛は負けん気が強かった。いつもは、むっつりして決して無駄口などたたかなかつたが、これはゆずれないと思った時は、ズバリと徹底したことを言った。一旦怒ると、口先の争いは次にして、刀のつばを鳴らして一步も引かずに頑張るので、年長の人々までが「西郷にうっかり、かかわり合うな。あれはなかなか、やかましいぞ」といううわさもあつたほどだった。この負けん気の強い気質が明治維新を成し遂げた原動力になったといえる。⁸⁷。

西郷隆盛の性格の中には、薩摩人らしい一本気のところがある。一度こうだと思ひ込んだら、どんな利害も圧力も彼には通じなかつた。それが周りの人には頑固だと感じられることもあつた。心の奥には、いつもこれこそ正義であり、真理であるという強い信仰が宿つていた。それを犯されそうになる時は、一步も退かなかつた。1873年、征韓論⁸⁸に敗れて帰郷したのも、その信念のままに生き抜いたからである。たとえ自分の生命をうばわれることがあつても、少しも恐れることなく、自分の信念をまげなかつた。⁸⁹。

西郷隆盛にも見られる鹿児島県民のいくつかの特徴的な気質の中で、特に一本気の性格が鹿児島県の言葉や文化の継承に関係していると考えられる。鹿児島県民には昔からあつた独特な言葉や文化を守り続けることが必要だという信念があつた。その信念が強かつたから、たとえ他の地域に新しい言葉や文化が広まってもそれを取り入れようとしなかつた。その結果、昔からあつた鹿児島弁や独特の行事が残つていったのだ。さらに、そうやって信念を待って守つてきた言葉や文化だからこそ、より一層愛着を持つているのだ。

⁸⁴ 1813年～1858年。幕末の尊皇家。京都清水寺成就院の住職。国事に奔走。安政の大獄の難を西郷隆盛とともに薩摩に逃れたが、藩にいれられず、隆盛と錦江湾に入水して絶命。隆盛は救助された。

⁸⁵ 満江巖『西郷隆盛の人と思想』（郷土の偉人顕彰会、1984）p.21。

⁸⁶ 西郷南洲顕彰館の展示、2018年8月12日。

⁸⁷ 原口泉（編）『西郷どんと明治維新』（西郷隆盛公奉賛会、2017）p.65-p.66。

⁸⁸ 1873（明治6）年、西郷隆盛・板垣退助らが朝鮮の排日的鎖国主義を名目として、これを討つことを主張した論。

⁸⁹ 満江前掲書、p.34。

XLVI. 卒業レポート⑩ フィールド・ワーク



I. 目的

- ・ 学術研究や問題解決のためのポピュラーな技法であるフィールド・ワークを体得するため

II. 演習

A. フィールド・ワークとは

1. Fieldwork フィールドスタディ (Field study)、現地調査、実地調査とも言う。
2. 学術研究を行うために、実際にテーマにそくした場所を訪問し、いろいろな資料を集めて、本やウェブだけではわからない、現地ならではの成果を求めるもの。

B. フィールド・ワークの内容

1. 文献資料の収集

- a. パンフレット、入場券、ちらし
- b. 地元団体・個人による本、雑誌、新聞
- c. これらを本論などで用いる場合は、情報カード作成時に準じる

2. 写真を撮る

- a. 資料として有用な写真は、本論と関係がある客観的な写真である。本論と関係がない写真、主観的な写真は、結論で活用できる。
- b. プライバシー権、肖像権に気をつける。
- c. 被写体の権利関係のため、あるいは被写体が傷つくため、写真撮影が禁止されている場合があるので気をつける。
- d. これらを本論などで用いる場合、キャプション（表題）とソース（書誌情報）は下の通り。

例： キャプション（表題） 図 31 三ハラーメン銅座店のちゃんぽん特盛

ソース（書誌情報） 山田太郎、三ハラーメン銅座店、2010年11月7日写す

3. 地元の人に訊いてみる

- a. 聞き取り（インタビュー）、アンケート（質問）調査
- b. これらを本論などで用いる場合は、調査場所、調査年月日を明記する。

4. 資料館を訪ねる

- a. 資料館は一般的・体系的で、貴重かつ良質の資料を展示している。まずは、展示全体の把握につとめる。その上で、とくに必要なことがらについては、鉛筆でメモを取る。多くの場合、写真撮影は禁止されているので、気をつける。
- b. 資料館には専門職員（学芸員）が多くの場合いる。質問してみるのもよい。
- c. これらを本論などで用いる場合は、資料館名（学芸員名）、見学年月日を明記する。

5. その他、自らの五感を働かせる

- a. 非科学的ではあるが、現地で得た自らの感覚（空気）は、とくにレポートや研究の論理や補強に生かされることが多い。
- b. 卒業レポートを意識しながら、修学旅行を過ごす。



図 31 三ハラーメン銅座店のちゃんぽん特盛
山田太郎、三ハラーメン銅座店、2010年11月7日写す



図 45 熊本地震前の熊本城天守閣
三日月五郎、熊本城、2010年11月9日写す

XLVII. 卒業レポート⑩ 結論を書く



I. 目的

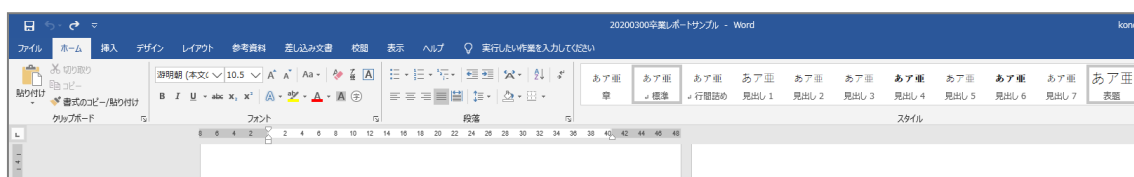
- A. 社会的に認められた調査や研究の表現方法や技術を知るため
- B. レポートや論文の一つのスタイルを習得するため

II. 演習

A. 結論を書く

1. 見出し

「ホーム」→「スタイル」→「表題」を用いる



2. 見出しの次の行より、内容は入力する。内容は以下の3つ（3パラグラフ）。

- レポートの全体に関わる意見、考察、課題。
- 修学旅行中の行動記録、本論と関係のない修学旅行中に撮った写真を入れてもよい。「卒業レポート⑩本論を書く」の「D. 図や表」参照
- 修学旅行や卒業レポートの執筆を終えて、思うところ、考えるところ（他者への謝辞など）を書く。とくに、調べたことと実際に行って感じたことを重ね合わせて考えるとより意味のあるレポートとなる。

➤ 総じて500文字以上

B. 卒業レポートの完成（最終提出）

1. 自らの卒業レポートを読み直す。
2. 指摘されている箇所についてたず。
3. Wordの「校閲」の機能などを活用し、入力ミスや標記のゆれなどチェックする。
4. ルーブリックにおけるそれぞれの評価の観点とレベルを確認する

結論

鹿児島弁について3つのことがわかった。1つ目は特徴のある鹿児島弁は古代からあり、倭朝廷では日本の中央語として使われていたということだ。2つ目は政治の中心が江戸に移ってから共通語ができ、その共通語が各地に伝わっていったが、鹿児島県では昔からの言葉が使われ続けたということだ。3つ目は共通語の影響を受けず鹿児島弁が残った理由についてだ。まず鹿児島県は日本の最南端にあるという地理的要因がある。次に外部との交流が少なかったという社会的要因がある。その2つの要因は鹿児島県民の気質に影響を与えた。つまり閉鎖的で、郷土に対する意識が高く、独自のものへの愛着心がとても強くなった。その結果古くからの言葉を愛し、残してきたのだ。鹿児島弁はもともと中央語としてあった言葉だったにもかかわらず、独特な方言として扱われるようになった。鹿児島弁がうまれたというよりも、鹿児島弁が先にあり、現在の標準語の方が後からうまれたと考えられる。



図 29 出水での味覚狩り体験

関学花子、出水市の西郷高盛氏の畑、2018年11月8日写す

修学旅行の初日は長崎の平和記念公園を訪れた後、原爆遺構・碑めぐりをした。2日目は原爆資料館の見学をし、下平作江さんの平和講和を聞いた。長崎市内で班別自主研修をした後、鹿児島県出水市の民泊先に移動した。3日目は、民泊先で農作業を手伝ったり、食事を作ったりした。4日目は出水から指宿に移動し、砂蒸し風呂を体験した。5日目は知覧特攻平和会館を訪れ、平和講演会を受けた。その後、仙巖園・尚古集成館を見学した。出水での民泊の時に、泊った家の方に鹿児島弁で話してもらった。お父さんは出水弁、お母さんは鹿児島弁だった。ほとんど理解できなかったが、その二人でさえ、互いが分からない言葉があるくらい違う言葉もあった。二人ともそれぞれの地方の方言を大切にされていることがよく分かった。一方、色々な県の人が民泊に来るので、標準語も話せていた。

卒業レポートの執筆を終え、本やWebだけではなく、現地の資料館の展示や資料、民泊での地元の人の話が参考になった。方言という形のないテーマだったので、実際に現地の人言葉の言葉を聞くことで、本では単なる文字だったのが、その響きや雰囲気を感じとることがで

XLVIII. 卒業レポート⑬ 発表用資料の作成



I. 目的

- A. 卒業レポートの問い、答える（調べる）過程を振り返り、新たな問いを創出するため
- B. 他者がわかるレジюме（要約）の作成方法・技術を体得するため

II. 演習

A. 「発表用資料」とは何か

- 1. レジюме（フランス語）＝論文・発表内容などを簡潔にまとめたもの。 要約 レジメ
- 2. レジюмеは、発表（プレゼンテーション＝プレゼン）の際、発表する側が発表される側全員に配布する人が多い。よって、レジюмеの目的は大きく2つある。
 - a. プレゼンテーションの要約として、要旨や論理を強調するため
 - b. プレゼンテーションの補足資料（データなど）として、要旨や論理を補強するため
- 3. 今回は便宜上、レジюме（プリント）の全員配付はおこなわない。画面上のスライドショーにより全員に一括で示す。

B. スライドショーの作成 (Microsoft PowerPoint)

- 1. 技術家庭科の授業でその利用方法を学んだプレゼンテーション用ソフト Microsoft PowerPoint を使って、発表用資料（スライドショー）を作成する。
- 2. 1コマにつきスライド1枚のスライドショーを作成する人が多い。
 - a. 強調したいところを多くする →スライドの内容が多い・口頭で話す内容が少ない
 - b. 重要でないところを少なくする →スライドの内容が少ない・口頭で話す内容が多い
- 3. 1コマにたくさんの情報を詰め込みすぎない方がよい。スライドが多くなって構わない。「霞ヶ関パワポ」はNG
- 4. ユニバーサルデザインの観点から、スライドショーで用いる文字のフォントは明朝体を避けたほうがよい。ゴシック、とくにメイリオ推奨 (UD フォントがベストだが、PCによっては入っていないことも多い)。文字の大きさは48pt 以上がベター（発表場所の都合）。
- 5. スライドショーは、ビジュアル（視覚的）に訴える内容に（図、表、画像、フローチャートなど）。箇条書きはいいが、文はNG。
 - a. 原則、スライドで使用するすべての画像などにソースは必要（文字は小さくても構わない）

伝わるスライドをつくるポイント

- 1. たくさんの情報をスライド1枚に入れない
- 2. フォントはゴシック（メイリオ）推奨、48pt 以上
- 3. ビジュアル化（視覚化）→文はNG
- 4. アニメーションなど装飾のしすぎに注意
- 5. それぞれのソースを忘れずに



- b. ただし、レポート本体で使用した図、表、画像、フローチャートなど、または著作権フリー（「いらすとや」の画像など）のソースは不要
- 6. アニメーションなど装飾のしすぎに注意。内容を伝えることが目的であることから、その目的を妨げる（アニメーションに凝りすぎて内容が伝わらないなど）ほどの装飾は避ける。
- 7. 何をスライドショーで示し、何を口頭で話すなどするか、事前によく考える。
 - a. スライドショーの内容を、そのまま口頭で話すのはNG。
 - b. スライドショーで示したビジュアルを、口頭で話して論理的につなぐイメージ。



C. スライドショーをもとにした発表の準備

1. 3分30分から4分00分の発表（原稿を用意してもよい）
2. 1分間300文字が目安。一文を短く。前（聴衆）を向く。
言葉に強弱や抑揚をつける。ジェスチャーなどがあればわかりやすい。
3. スライドショーや口頭で話す以外の伝える方法を考える。
 - a. 実物投影機で示す（現物を映す）
 - a. ホワイトボードに書く（言葉を強調する）
 - c. 現物を示す、配付する
 - ・発表場所は、中学部図書館メディアスペース
5. 中学部図書館メディアスペース PC の Microsoft PowerPoint で、必ず事前に動作確認をすること。



D. スライドショーのデータの提出

1. 自分自身の発表日朝8:15までにデータで提出
2. ファイル名
「3A01 関学太郎」（3年A組1番の関学太郎の意味）
3. 提出場所
 - a. 学校の PC のハードディスク（HD）→「提出」→「3年読書」→「卒業レポート発表」→各学級のフォルダ
 - b. 一度このフォルダに提出すると加筆訂正できない。よく確認したうえで提出すること。



1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32

XLIX. 卒業レポート⑭ 発表の技術



I. 目的

- A. 卒業レポートの問い、答える過程、答えを振り返り、新たな問いを創出するため
- B. 他者にわかりやすい、伝わりやすい発表の技術や方法を得るため
- C. より高いレベルの答えや新たな問い得るための、適切な質問や回答の技術や方法を学ぶため

II. 演習

A. 発表とは何か プレゼンテーションとは何か

- 1. 発表の行為は、近年プレゼンテーション（プレゼン）という言葉に置き換えられることが多い。
プレゼンテーション presentation（英語）＝提示 本来は、広告活動の一種で、計画案を提示・説明する行為を指す。
- 2. 相手に魅力的に伝わるかどうか、これがプレゼンテーションの最大のポイントである。
- 3. プレゼンテーションの道具は、基本として、口頭（と身振り手振り）と全員に配付する資料（レジュメ）によっておこなわれる。最近ではこれらに加えて、板書（黒板、ホワイトボード）、模造紙、フリップボード、実物投影機、スライド、プロジェクター、プレゼンテーション用ソフト（Microsoft PowerPoint など）によっておこなわれる。
- 4. プレゼンテーションの内容は、文字を基本に、図、表、絵、写真、映像などによって示される。

B. プレゼンテーションの技術

1. プレゼンテーション（発する側）

a. 話す技術

(1). 簡潔

- (a). テーマをはっきりさせる。
- (b). 一文を短く。長い文は理解までに時間がかかる。
- (c). ポイントを絞る。多くは理解できない。

(2). 分かりやすい

- (a). 身近な具体例をあげる。イメージできるように。
- (b). 専門用語は使わない。話についていけなくなる。
- (c). 順序立てて話す。何が言いたいかわかるように。

(3). 印象深い

- (a). 最初の一言を工夫する。興味を引くことが肝要。
- (b). 体験談を話す。自分の体験談には迫力がある。
- (c). 感情をこめて話す。相手が感動できるように。

b. 一般的なポイント

- | | | |
|---------------|------------------|-------------------|
| (1). テーマ（主題） | (2). メディア（方法・機材） | (3). オリジナリティ（独創性） |
| (4). リソース（資料） | (5). プレゼンス（発表） | (6). プロセス（準備） |



c. 一番重要なポイントは、問いから答えにいたる論理をわかりやすく伝えること

2. 質問 (受ける側)

a. 目的

- (1). 主張は質問されてこそ、強い主張となる
- (2). ソクラテス「無知の知」→主張は対立してこそ、真理が探究される

b. 準備

- (1). 論理的思考をつける。プレゼンテーションの論理的矛盾、空白、飛躍を探すため。
- (2). テーマへの知識をつける。
- (3). 質問の方法、切り口など、質問について問題意識を持つ

「これについて詳しく教えてください」「これはこういう理解で合っていますか？」

c. いい質問とは、具体的かつ本質的で、論理に関わる質問である。

3. 回答 (発する側)

- a. 質問に対して、簡潔に答える。
- b. 知的誠実 (わからない場合は「わかりません」)

C. 実際の卒業レポートの発表

1. 発表→質問→回答→次の発表
2. 発表は、3分30秒から4分00秒
 - a. 3分00秒でチャイム1回
 - b. 3分30秒でチャイム2回
 - c. 4分00秒で強制終了

Microsoft PowerPoint の操作は自己責任で
(事前に動作確認を)

3. 質問

- a. 質問者はその都度、発表前にくじで決める
- b. 一度当たれば、その後は当たらない

4. 回答

- a. 質問に対して簡潔に答える
- b. わからなければ「わかりません」→新しい問い (新しい探究テーマ) に



川北信彦賞

この賞は、関西学院中学部の司書教諭・読書科教諭であった故川北信彦先生を慕う中学部08 (中学部22回生1230会)の篤志によって創設されました。川北先生は、1964 (昭和39)年4月以来37年間にわたって、中学部図書館の発展、読書生活の推進、自主的自立的学習の育成に努められました。その功績は、広く学校図書館界の知るところです。以上の趣旨をかんがみ、川北先生をおぼえて、3年間の読書科での学び「読書生活の形成と深化」と「自主的自立的活動の体得」を修めた者、その具現的なかたちとしての卒業レポートの発表における優秀者に贈られます。



L. 3年間の「読書」をふりかえる



I. 目的

- A. 読書の意義を理解するため
- B. 自身の成長を確かめるため
- C. 読書活動を後輩に受け継ぐため

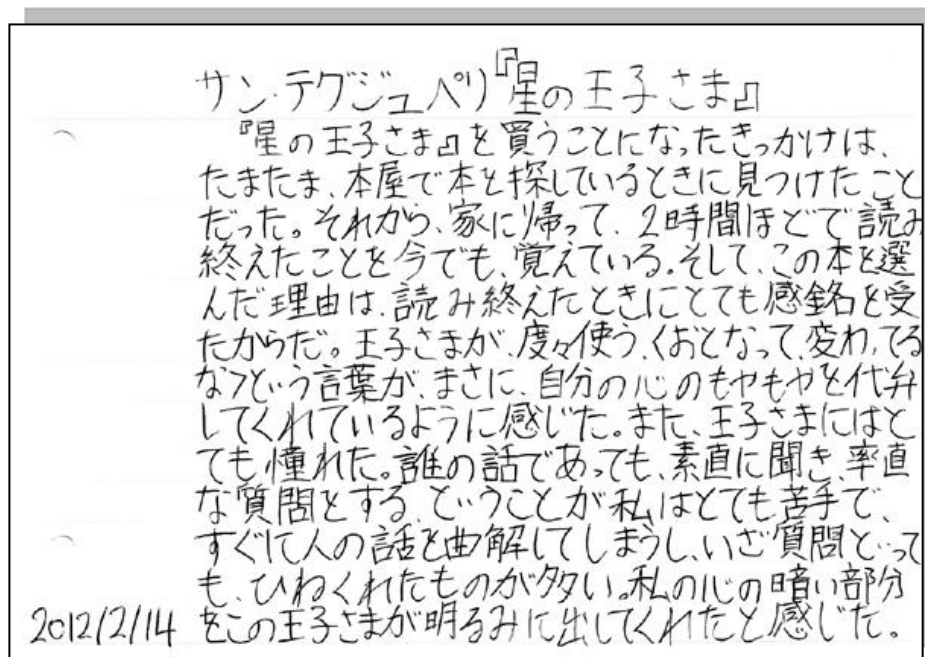
II. 内容

- A. 中学部3年間で、もっとも印象に残っている本を1冊取り上げて、なぜその本がもっとも印象に残っているかをカード1枚で説明する。話のあらすじ、感想、気に入ったところを中心に書く。
- B. 中学部読書科最後の授業において、入学時に作成した同様のカードと比較し、中学部3年間の読書生活をふりかえり、今後の読書生活への糧とする。

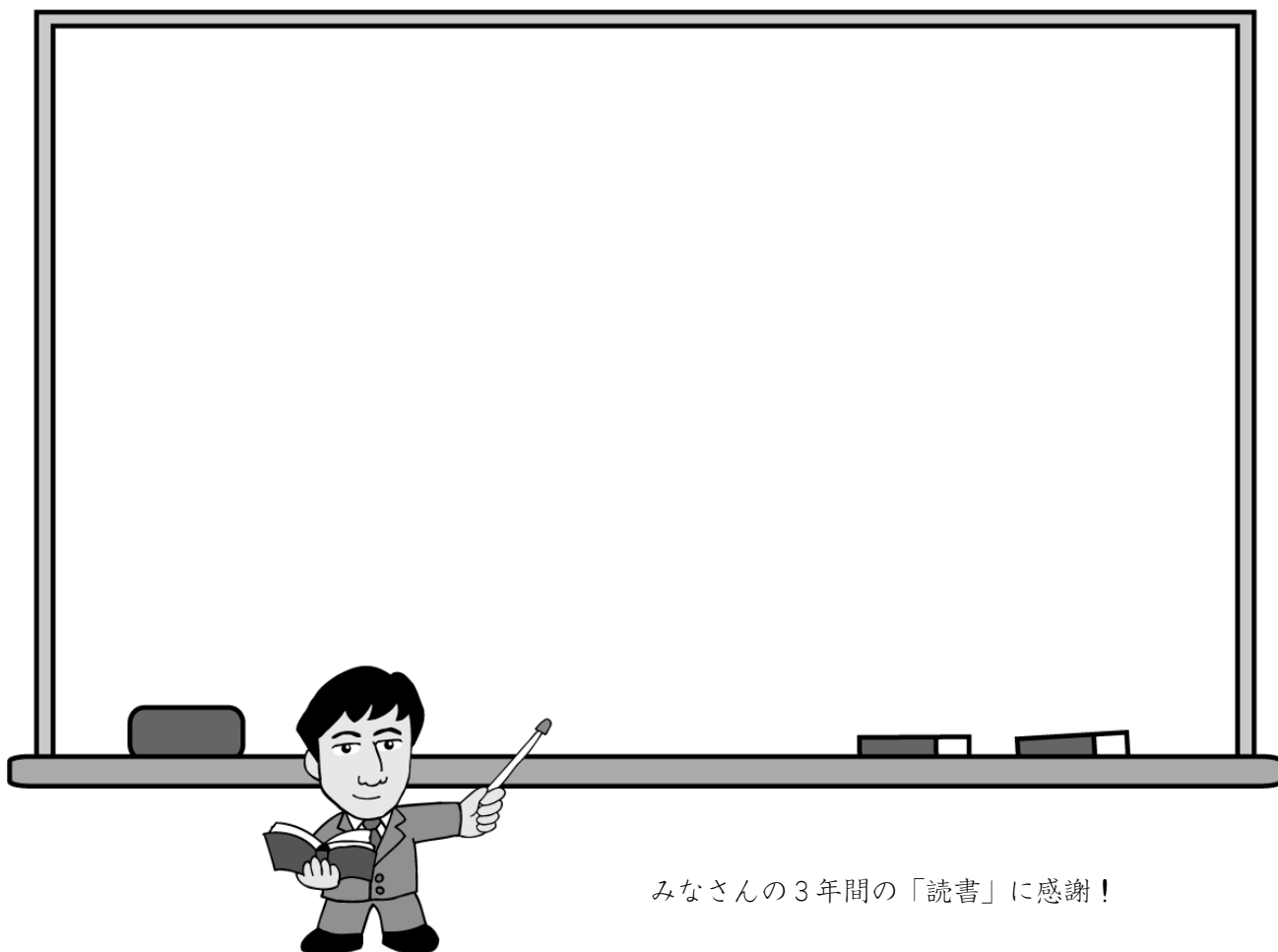
III. カードの書き方 ※下の例を参考にする

- A. カードの上の部分には、中学部3年間で、最も印象に残っている本の、著者名『書名』を記入する。
例：宮沢賢治『銀河鉄道の夜』
- B. カードの左側の下の部分には、このカードを作成した年月日を記入する。
例：2018年2月14日
- C. カードの中心部には、なぜその本が最も印象に残っているかを説明する 最低でも半分（7行）以上は書く。
- D. 裏面には学年、クラス、番号、氏名を記入する。
例：3年A組49番 関学太郎

例



以下に、まとめ「3年間の『読書』をふりかえる」の内容を記録しよう



みなさんの3年間の「読書」に感謝！